

平成 24 年度
メディアリテラシーと
子どもの健康
調査委員会報告書

公益財団法人 日本学校保健会

平成 24 年度

メディアリテラシーと子どもの健康
調査委員会報告書

公益財団法人 日本学校保健会

ま え が き

近年の情報技術の目覚ましい発展に伴い、現代の子どもたちは、様々なメディア媒体を生活の中で使用し、多様かつ多量のメディア情報を入手することが可能となっています。一方、メディア情報が、青少年の暴力、性行動、喫煙、飲酒、薬物乱用、食行動などに影響し、認識・行動の変容及び固定化の結果として健康問題の原因となっていると考えられており、欧米を中心に、それらに対応するための教育方法などに関する研究結果が報告され始めています。

我が国においても、平成17年に中央教育審議会「健やかな体を育む教育の在り方に関する専門部会これまでの審議の状況－すべての子どもたちが身に付けているべきミニマムとは？－」において、保健の分野で「すべての子どもたちが身に付けるべきもの」を審議するに当たって「情報を収集し正しく理解し判断する力を育成するという視点」に留意されているように、健康教育の中でメディア情報を主体的に読み解く能力（メディアリテラシー）を育成する教育の必要性が認識されています。また、平成21年12月に作成された高等学校学習指導要領保健体育編・体育編においても「性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。」と記載されています。

しかしながら、我が国においては、健康教育としてのメディアリテラシーの育成に関する教育は緒に着的なところではあります。そこで、財団法人日本学校保健会（現：公益財団法人日本学校保健会）では、平成20年度に「メディアリテラシーと子どもの健康調査委員会」を設置し、我が国の子どもたちのメディア利用状況、諸外国の研究結果、諸外国の実践事例並びに我が国においても実践事例が比較的集められている喫煙、飲酒防止教育などについて調査研究を行い、平成22年3月に「メディアリテラシーと子どもの健康調査委員会報告書」としてとりまとめ、全国の教育委員会等に配布しました。

今回、本委員会では、テレビや雑誌などのメディア情報が、喫煙、飲酒、食行動など、中・高校生の健康と密接なかわりのある行動に及ぼす影響のプロセスを明らかにするために「青少年の生きる力と健康行動調査」を実施し、その結果をとりまとめました。

本報告書は、現在の中・高校生がテレビや雑誌などのメディア情報からどのような影響を受けているかを知る貴重な資料であると考えています。また、本調査結果は、子どもたちがメディア情報の好ましくない影響に適切に対処する能力を形成するための健康教育の在り方に関する基礎資料となるものと考えており、健康教育におけるメディアリテラシー育成に関する教育の必要性の認識が進み、我が国においても実践事例の開発などが進むことを期待しています。

平成25年2月

公益財団法人 日本学校保健会
会 長 横 倉 義 武

目 次

本 編

1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査結果の概要	5
4. 結果	
1) 性・学年別記述統計結果	
(1) 身長、体重、BMI	7
(2) メディアの使用状況及び体型・スタイルに関する友人との会話	10
(3) メディア情報の影響	13
(4) セルフエスティーム	15
(5) 身体不満足とダイエット行動	17
(6) 喫煙、飲酒行動	18
2) 変数間の関連性の結果	
(1) メディアの使用状況とメディア情報の影響	21
(2) 体型・スタイルに関する友人との会話、メディアの使用状況、メディア情報の影響	23
(3) メディアの使用状況、メディア情報の影響とセルフエスティーム「身体」、身体不満足、ダイエット行動	25
(4) 喫煙、飲酒行動とメディアの使用状況、身体不満足、ダイエット行動	30
(5) セルフエスティームと身体不満足、ダイエット行動、喫煙、飲酒行動	34

資料編

青少年の生きる力と健康行動調査 2011 メディア 集計結果	39
表1 身長	40
表2 体重	40
表3 BMI	41
表4 セルフエスティーム「全般」	41
表5 セルフエスティーム「家族」	42
表6 セルフエスティーム「身体」	42
表7 生涯喫煙経験	43
表8 月喫煙行動	43
表9 生涯飲酒経験	44

表 10	月飲酒行動	44
表 11	ダイエット行動	45
表 12	平日のビデオや DVD の視聴時間	45
表 13	平日のテレビの視聴時間	46
表 14	1ヶ月あたりに読むマンガの冊数	46
表 15	1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数	47
表 16	体型・スタイルに関する友人との会話	47
表 17	メディア情報の影響（プレッシャー）	48
表 18	メディア情報の影響（情報の重要性）	48
表 19	メディア情報の影響（内面化一般）	49
表 20	メディア情報の影響（内面化スポーツ）	49
表 21	身体不満足	50
青少年の生きる力と健康行動調査 2011	メディア（中・高校生用） 調査票	51
青少年の生きる力と健康行動調査 2011	メディア（中・高校生用） 調査実施手引	63

1. 調査目的

テレビや雑誌などのメディア情報が、喫煙、飲酒、ダイエット行動など、中・高校生の健康と密接なかわりのある行動に及ぼす影響を明らかにし、子どもたちがメディア情報の好ましくない影響に適切に対処する能力を形成するための健康教育の在り方に関する基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査方法

1) 調査対象

調査対象者の抽出は確率比例抽出法による。平成 22 年度の全国の中学校と高等学校のリストに基づき、各校の生徒数に応じた重み付けをした上で、無作為に中学校 251 校、高等学校 99 校を抽出した。そのうち、東日本大震災の影響を考慮し、岩手県、宮城県、福島県の 3 県の中学校 11 校と高等学校 5 校を除外し、調査対象校として中学校 240 校、高等学校 94 校を選定した。

次に、都道府県の教育委員会と政令指定都市の教育委員会に調査協力依頼文書を送付したところ、大阪府、大阪市、堺市、奈良県、滋賀県教育委員会から調査の実施について了承が得られなかったため、3 府県 2 市の中学校 24 校、高等学校 9 校を除き、最終的には中学校 216 校、高等学校 85 校に調査依頼文書を 2011 年 9 月に送付した。

調査対象校には、中学校の場合は各学年 1 クラスを、高等学校の場合は各学年 2 クラスを選定するように依頼した。クラスの選定方法は各校の判断に委ねたが、できるだけ代表的なクラスを選定するように依頼した。

以上の手続きの結果、中学校 130 校、高等学校 50 校が調査に参加することとなった。調査実施人数は中学校 12260 人、高等学校 10619 人、計 22879 人であった。このうち性別未記入者 125 人を除外し、22754 人を分析対象とした。

表 1 には、性・学年別の分析対象者数を示した。

表 1 性・学年別分析対象者数

	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	計
男子	2065	2078	2039	1761	1609	1475	11027
女子	1976	2062	1983	1993	1993	1720	11727
計	4041	4140	4022	3754	3602	3195	22754

2) データ収集

調査は、2011 年 11 月から 2012 年 1 月にかけて実施した。調査の実施は、原則として調査対象クラスの担任が務めるように依頼した。調査実施方法の統一を図るために調査実施手引書を作成し、生徒への説明や指示を具体的に記して、指示内容以外の説明を行わないように求めた。

なお、調査項目には、未成年者では法律によって禁止されている喫煙や飲酒行動に関する調査項目も含まれているので、回答した内容についての秘密の保持に配慮した。第一に、調査は自記入式の無記名調査とした。第二に、記入後はあらかじめ各人に配付した封筒に記入済みの

調査票を入れ、封をさせた。第三に、調査中は机間巡視をしないように調査実施者に求めた。

また、生徒に配付した調査票の表紙には、答えた内容が他の人に知られないようにすること、調査は無記名であること、答えたくない質問には答えなくてもよいことなどの留意事項を記すとともに、調査実施手引書において調査に先立って留意事項を調査実施者が生徒の前で読むように指示した。

3) 調査内容

表2には、本調査で用いた主な質問項目を示した。また、図1には変数間の関連を概念図として示した。

(1) 健康関連行動

喫煙行動と飲酒行動に関しては、川畑らの全国調査に倣って、生涯経験とこの1ヶ月間の経験に関して質問した。そして、この1ヶ月間に1本以上タバコを吸った者を月喫煙者、1回以上飲酒をした者を月飲酒者と定義した。

ダイエット行動に関しては、公益財団法人日本学校保健会による「平成22年度児童生徒の健康状態サーベイランス」の質問項目を使用した。

(2) メディアの使用状況

ビデオ、DVD及びテレビについては平日の視聴時間を、マンガと雑誌（マンガ雑誌は含まない）については1ヶ月に読む冊数を質問した。

(3) メディア情報の影響

メディア情報の影響を測定するために、Thompsonらによる「SATAQ-3 (Sociocultural Attitudes Towards Appearance Questionnaire-3)」の短縮版(12項目)を使用した。なお、2010年11～12月にかけて東京都足立区の4中学校において実施したパイロット調査のデータについて因子分析を行ったところ、オリジナルと同じ「プレッシャー」、「情報の重要性」、「内面化一般」、「内面化スポーツ」の4因子が男女ともに抽出されたので、本調査においても因子ごとに、構成している3項目の得点を合計し、下位尺度得点とした。いずれも得点が高いほどメディア情報の影響を強く受けていることを示す。

「プレッシャー」は、メディアに接してダイエットしなければならないという心理的圧力を感じている程度を示している。「情報の重要性」は、メディア情報が外見的な魅力の情報源として重要と考えている程度を示している。「内面化」とは一般に、社会から示された規範や役割、価値観を、自分自身の規範や役割、価値観として受け入れるという社会的影響のプロセスを示す。ここでは、体型にかかわる内面化として、①やせ体型であるべきだというやせ理想の規範の内面化(内面化一般)と、②スポーツ選手体型であるべきだという規範の内面化(内面化スポーツ)の二つの側面を測定した。

(4) 体型・スタイルに関する友人との会話

体型・スタイルに関する友人との会話の程度を測定するために、Jonesらによる「AC-F (Appearance Conversation With Friends)」尺度(5項目)を使用した。なお、パイロット調査のデータについて因子分析を行ったところ、オリジナルと同様に1因子構造が確認されたので、本調査においても5項目の合計得点を算出した。得点が高いほど、体型・スタイルについて友人とよく話すことを示す。

(5) 身体不満足

身体不満足とは、自分の体型やお腹・お尻などの身体各部に対してどの程度不満をもっているかを示す指標である。本調査においては、Garnerによる「EDI-2(Eating Disorder Inventory-2)」尺度の中から身体不満足に関する5項目を選び、使用した。なお、パイロット調査のデータについて因子分析を行ったところ、オリジナルと同様に1因子構造が確認されたので、本調査においても5項目の合計得点を算出した。また、合計得点を算出するに当たっては、得点が高いほど身体不満足感が高いことを表すように変換した。

(6) セルフエスティーム

セルフエスティームとは、自分の能力や価値に対する自信の程度を示す。セルフエスティームの測定には、我が国の青少年の危険行動調査においてよく使われていることなどを考慮して、全般的なセルフエスティームの測定にはRosenbergの尺度（以下、セルフエスティーム「全般」）を、家族に関するセルフエスティームと身体に関するセルフエスティームの測定にはPopeらの尺度（以下、セルフエスティーム「家族」及びセルフエスティーム「身体」）を用いた。各尺度の項目は（各10項目）、得点が高いほどセルフエスティームのレベルが高いことを表すように変換し、各尺度について合計得点を求めた。

(7) 属性

属性については、性、年齢、学年、身長、体重を質問した。また、身長と体重からBMI（Body Mass Index = 体重(kg)/身長(m)²）を算出した。

4) 解析方法

まず、性・学年別に記述統計を求めた。次に、各変数間の関連性について性・学校種別に分析した。なお、その際の統計上の有意水準は5%とした。

表2 質問項目

1. 健康関連行動

- ・生涯喫煙経験 (Q10) : 「あなたは、今までに、タバコを一口でも吸ったことがありますか」
①吸ったことがない ②吸ったことがある より一つ選択
(②を選択した者を生涯喫煙経験者とした)
- ・月喫煙経験 (Q11) : 「あなたは、この1ヶ月間にタバコを吸いましたか」
①吸っていない ②1本吸った ③2～19本吸った ④20本以上吸った より一つ選択
(②～④のいずれかを選択した者を月喫煙者とした)
- ・生涯飲酒経験 (Q8) : 「あなたは、今までに、酒やビールを飲んだことがありますか」
①飲んだことがない ②飲んだことがある より一つ選択
(②を選択した者を生涯飲酒経験者とした)
- ・月飲酒経験 (Q9) : 「あなたは、この1ヶ月間に酒やビールを飲みましたか」
①飲んでいない ②1回飲んだ ③2回以上飲んだ より一つ選択
(②もしくは③を選択した者を月飲酒者とした)
- ・ダイエット (Q12) : 「あなたは、今までにやせたいと思って体重を減らす努力(ダイエット)をしたことがありますか」
①太りすぎと医師や先生に言われ、指導を受けて実行した ②やせたいと思って実行した
③したいと思ったが、まだ実行していない ④思ったことはない より一つ選択

2. メディアの使用状況 (Q13)

- ・ビデオ、DVD : 「あなたは、平日、1日に何時間くらいビデオやDVDをみますか」
①ほとんど見ない ②1時間未満 ③1～2時間未満 ④2～3時間未満 ⑤3～4時間未満
⑥4時間以上 より一つ選択
- ・テレビ : 「あなたは、平日、1日に何時間くらいテレビをみますか」
①ほとんど見ない ②1時間未満 ③1～2時間未満 ④2～3時間未満 ⑤3～4時間未満
⑥4時間以上 より一つ選択
- ・マンガ : 「あなたは、1ヶ月に、マンガ(マンガ本やマンガ雑誌)を何冊くらい読みますか」
①ほとんど読まない ②1～2冊 ③3～5冊 ④6冊以上 より一つ選択
- ・雑誌 : 「あなたは、1ヶ月に、雑誌(マンガ雑誌は含みません)を何冊くらい読みますか」
①ほとんど読まない ②1～2冊 ③3～5冊 ④6冊以上 より一つ選択

3. メディア情報の影響 : 各3項目合計得点 (3～15点) (Q14)

プレッシャー (項目1、4、7) 情報の重要性 (項目2、8、11)

内面化一般 (項目3、5、6) 内面化スポーツ (項目9、10、12)

- ①そうは思わない ②どちらかと言えばそうは思わない ③どちらとも言えない
④どちらかと言えばそう思う ⑤そう思う より一つ選択

4. 体型・スタイルに関する友人との会話 : 全5項目合計得点 (5～25点) (Q15)

- ①まったくない ②あまりない ③たまにある ④よくある ⑤いつもある より一つ選択

5. 身体不満足 : 全5項目合計得点 (0～25点) (Q16)

- ①いつもそう思う ②大体いつもそう思う ③そう思うことが多い
④ときどきそう思う ⑤めったにそうは思わない ⑥全然そうは思わない より一つ選択

得点変換 : ①=0 ②=1 ③=2 ④=3 ⑤=4 ⑥=5

6. セルフエスティーム : 各10項目合計得点 (10～30点)

- ・セルフエスティーム「全般」(Q6)
- ・セルフエスティーム「家族」(Q7偶数番号)
- ・セルフエスティーム「身体」(Q7奇数番号)

7. 属性 : 性、年齢、学年、身長、体重 (Q1、Q3～5)

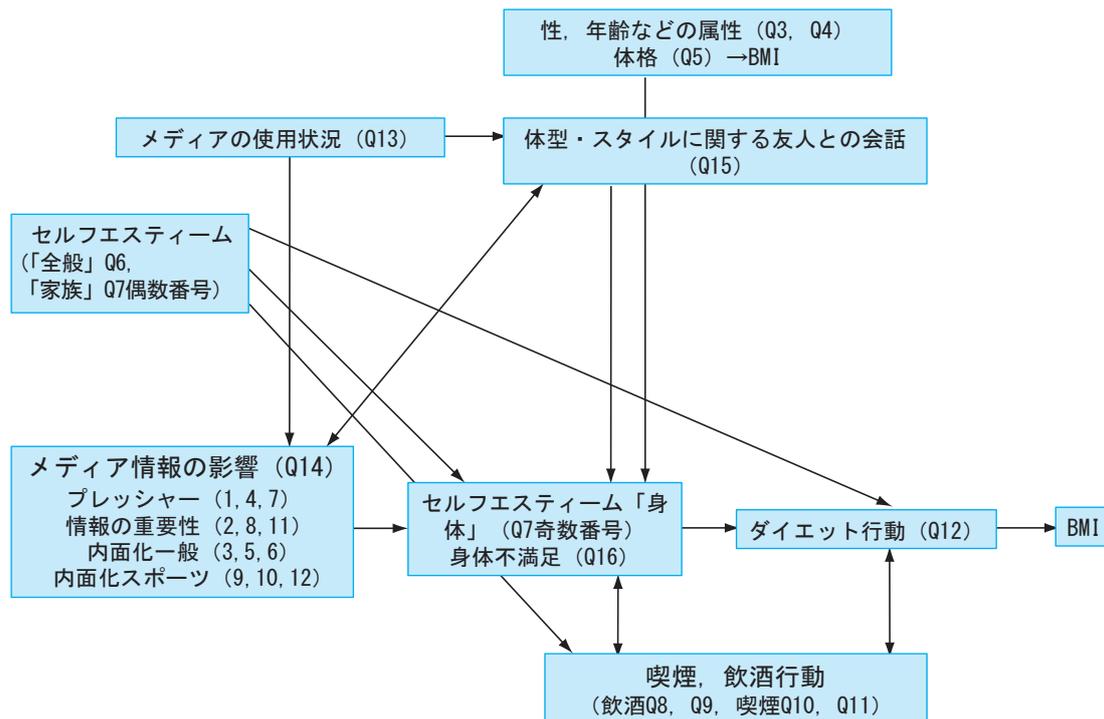


図1 変数間の関連

3. 調査結果の概要

1) 性・学年別記述統計結果

(1) メディアの使用状況と体型・スタイルに関する友人との会話

平日のビデオやDVD視聴時間については、「ほとんど見ない」あるいは「1時間未満」と回答した者が、男女ともすべての学年において50%を超えていた。平日のテレビ視聴時間については、「1～2時間未満」と回答した者が最も多かった(25～30%)。また、学年が上がるにつれてビデオやDVD及びテレビの視聴時間は低下する傾向にあった。

1ヶ月あたりに読むマンガの冊数については、「ほとんど読まない」から「6冊以上」まで比較的均等に分布していた。女子は、男子に比べて読む冊数が少なく、学年が上がるにつれて冊数は減る傾向にあった。1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数については、「ほとんど読まない」と「1～2冊」という回答が80～90%を占めた。1冊以上読んでいる者の割合はすべての学年で女子が男子を上回り、女子では60%以上の生徒が1冊以上読んでいた。

体型・スタイルについて友人と会話をするに関しては、すべての学年において女子の得点が男子より高かった。また、男女の別を問わず、学年が上がるにつれて、会話をする傾向が強くなった。

(2) メディア情報の影響

「プレッシャー」、「情報の重要性」、「内面化一般」得点は、すべての学年において女子の得点が男子に比べて高かった。また、女子の得点は中学生期に上昇する傾向にあった。一方、「内面化スポーツ」得点は、すべての学年において男子の得点が女子に比べて高かった。また、男子の得点はとりわけ中学生期に上昇する傾向にあった。

(3) セルフエスティーム

セルフエスティーム「全般」、「家族」、「身体」得点は中学生期に低下する傾向にあった。「全般」と「身体」については、すべての学年において男子の得点は女子に比べて高く、特に「身体」についてはその傾向が顕著であった。

(4) 身体不満足とダイエット行動

すべての学年において身体不満足得点は女子の方が高く、実際にダイエットを「やせたいと思って実行した」割合も女子の方が高かった。高校3年では63%の女子がダイエットを経験していた。

(5) 喫煙、飲酒行動

ここ1ヶ月間に1本以上タバコを吸った者の割合（月喫煙率）は、男女ともに学年が上がるにつれて増加する傾向にあり、高校3年では男子4.4%、女子2.3%であった。また、すべての学年において男子の月喫煙率は女子よりも高かった。

ここ1ヶ月間に1回以上飲酒をした者の割合（月飲酒率）は、男女ともに学年が上がるにつれて増加する傾向にあり、高校3年では男子17.4%、女子18.1%であった。月喫煙率に比べて月飲酒率の男女差は小さかった。

2) 変数間の関連性の結果

(1) メディアの使用状況とメディア情報の影響、体型・スタイルに関する友人との会話

メディアの中ではテレビと雑誌の影響が強く、平日のテレビの視聴時間が長いほど、また1ヶ月に読む雑誌の冊数が多いほど「プレッシャー」、「情報の重要性」、「内面化一般」の得点は高くなり、特に女子においてその傾向は顕著であった。一方、「内面化スポーツ」に関しては、男子のみ関連が認められた。

また、メディアを多く使用するほど、とりわけ1ヶ月に読む雑誌の冊数が多いほど、体型・スタイルについて友人と会話をする傾向が強かった。そして、友人の会話とメディア情報の影響との間にも正の相関が認められた。

(2) メディアの使用状況とセルフエスティーム「身体」、身体不満足、ダイエット行動

メディアの使用が多くなるほど、セルフエスティーム「身体」が低く、身体不満足が高くなる傾向が認められた。また、メディアの使用が多くなるほど、ダイエットを「やせたいと思って実行した」または「したいと思ったが、まだ実行していない」と回答した者の割合が高く、「思ったことはない」と回答した者の割合が低かった。

(3) メディア情報の影響とセルフエスティーム「身体」、身体不満足、ダイエット行動

メディア情報の影響（「プレッシャー」、「情報の重要性」、「内面化一般」、「内面化スポーツ」）を強く受けているほど、セルフエスティーム「身体」が低く、身体不満足が高くなる傾向が認められた。また、メディア情報の影響を受けているほど、ダイエットを「やせたいと思って実行した」と回答した者の割合が高く、「思ったことはない」と回答した者の割合が低かった。身体不満足とダイエット行動との関係についても、身体不満足が高いほどダイエットを「やせたいと思って実行した」と回答した者の割合が高かった。

(4) 喫煙、飲酒行動とメディアの使用状況、身体不満足、ダイエット行動

ビデオやDVD及びテレビの平日の視聴時間と喫煙行動の間には、関連が認められ、4時間

以上使用している生徒における月喫煙率が高かった。また、雑誌についても高校女子を除いて同様の傾向が認められた。

中学女子においては月喫煙者の身体不満足は非喫煙者に比べて高かった。また、中学男子を除いてダイエットを「やせたいと思って実行した」生徒における月喫煙率は高かった。

飲酒に関しては、メディアの使用が多くなるほど、月飲酒率が高くなる傾向にあった。女子においては月飲酒者の身体不満足は非飲酒者に比べて高かった。また、中学男子を除いてダイエットを「やせたいと思って実行した」生徒における月飲酒率は高かった。

(5) セルフエスティームと身体不満足、ダイエット行動、喫煙、飲酒行動

セルフエスティームが低いほど身体不満足は高かった。また、セルフエスティームが低いほどダイエットを「やせたいと思って実行した」と回答した者の割合が多く、「思ったことはない」と回答した者の割合が低かった。こうした傾向は特に女子において顕著であった。

喫煙行動と飲酒行動に関しては、とりわけセルフエスティーム「家族」との関係が強く、性・学校種の別を問わず、セルフエスティーム「家族」が低いほど、月喫煙率や月飲酒率が高かった。なお、セルフエスティーム「全般」と「身体」に関しては、中学女子のみ同様の傾向が認められた。

4. 結果

1) 性・学年別記述統計結果

(1) 身長、体重、BMI

本調査においては身長、体重は自己申告による値を使用した。一方、比較に用いた全国データ（平成23年度学校保健統計調査（文部科学省））は、健康診断時の測定値であり、調査月も異なることに留意する必要がある。

図1-1-1に性・学年別の身長を示した。すべての学年において男子の身長は女子の身長を上回っていた。男子は中学生期に身長が急激に高くなり、高校生期ではその増加は緩やかになった。女子の身長は中学生期に漸増するが、増加の幅は男子と比較すると小さく、高校生期ではほぼ横ばいであった。全国データと比較すると、本調査の中学男子の身長がやや高いが、全体的にほぼ同様の値であり、増加の傾向も一致していた（表1-1-1）。

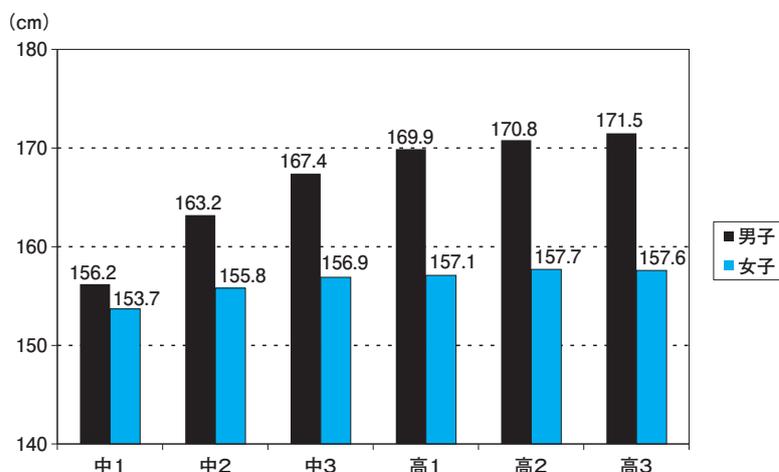


図 1-1-1 性・学年別の身長

表 1-1-1 身長の全国データとの比較

男子				女子			
本調査		全国データ		本調査		全国データ	
学年	平均値	年齢	平均値	学年	平均値	年齢	平均値
中1	156.2	12	152.3	中1	153.7	12	151.9
中2	163.2	13	159.6	中2	155.8	13	155.0
中3	167.4	14	165.1	中3	156.9	14	156.6
高1	169.9	15	168.3	高1	157.1	15	157.1
高2	170.8	16	169.9	高2	157.7	16	157.6
高3	171.5	17	170.7	高3	157.6	17	158.0

参考) 全国データは平成 23 年度学校保健統計調査 (文部科学省) に基づく

図 1-1-2 に性・学年別の体重を示した。身長と同様に、すべての学年において男子の体重は女子の体重を上回っていた。男子では中学生期に急激に体重が増加し、高校生期ではその増加は緩やかであった。女子では中学生期に増加し、高校生期ではほぼ一定となった。全国データと比較すると、本調査の男子の体重はやや小さく、女子は中学生期ではやや大きく、高校生期ではやや小さい値を示したが、増加の傾向についてはほぼ一致していた (表 1-1-2)。

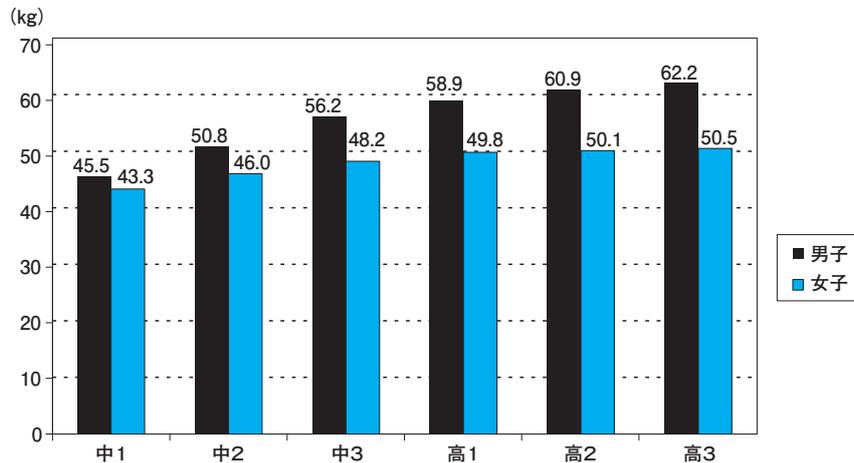


図 1-1-2 性・学年別の体重

表 1-1-2 体重の全国データとの比較

男子				女子			
本調査		全国データ		本調査		全国データ	
学年	平均値	年齢	平均値	学年	平均値	年齢	平均値
中1	43.3	12	43.6	中1	45.5	12	43.8
中2	46.0	13	47.1	中2	50.8	13	49.0
中3	48.2	14	49.9	中3	56.2	14	54.2
高1	49.8	15	51.4	高1	58.9	15	59.4
高2	50.1	16	52.4	高2	60.9	16	61.3
高3	50.5	17	52.8	高3	62.2	17	63.1

参考) 全国データは平成 23 年度学校保健統計調査 (文部科学省) に基づく

BMI は、中・高校生の年代では、体型の評価指標として適さないとされているが、増加の傾向や同質グループのデータ比較については有用であることから、本調査の性・学年別の結果を図 1-1-3 に、全国データとの比較を表 1-1-3 に示した。なお、今回比較の対象としている全国データ (平成 23 年度学校保健統計調査 (文部科学省)) に BMI の平均値は示されていないため、身長、体重の平均値より BMI の平均値を算出して比較に用いた。

図 1-1-3 より、身長、体重の傾向と同様に、すべての学年で男子の BMI は女子の BMI を上回っていた。男子の BMI は中学 1 年から高校 3 年まで増加を続けるのに対し、女子の BMI は高校生期では一定していた。

全国データと比較すると、男女ともに若干小さい値を示したが、増加の傾向についてはほぼ一致していた (表 1-1-3)。

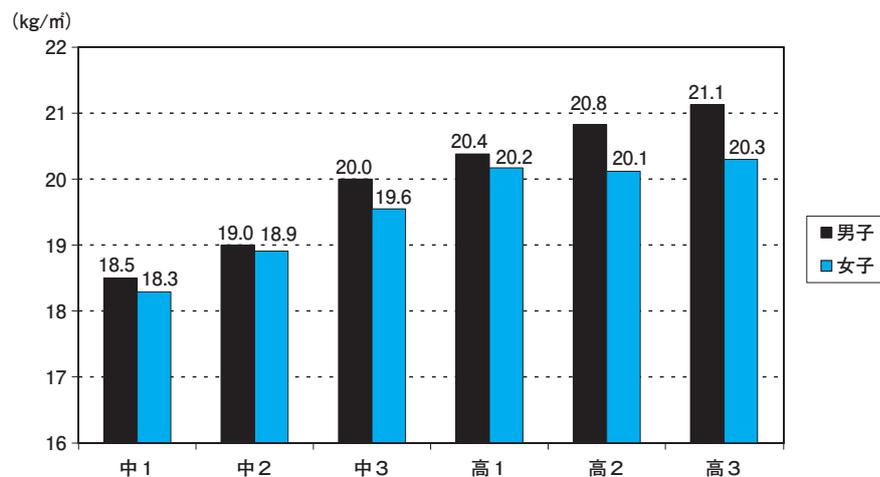


図 1-1-3 性・学年別の BMI

表 1-1-3 BMI の全国データとの比較

男子				女子			
本調査		全国データ		本調査		全国データ	
学年	平均値	年齢	平均値	学年	平均値	年齢	平均値
中1	18.5	12	18.9	中1	18.3	12	18.9
中2	19.0	13	19.2	中2	18.9	13	19.6
中3	20.0	14	19.9	中3	19.6	14	20.3
高1	20.4	15	21.0	高1	20.2	15	20.8
高2	20.8	16	21.2	高2	20.1	16	21.1
高3	21.1	17	21.7	高3	20.3	17	21.2

参考) 全国データは平成 23 年度学校保健統計調査 (文部科学省) を基に算出した

(2) メディアの使用状況及び体型・スタイルに関する友人との会話

図 1-2-1-a に性・学年別のメディア (ビデオや DVD) の使用状況を、図 1-2-1-b に性・学年別のメディア (テレビ) の使用状況を、図 1-2-1-c に性・学年別のメディア (マンガ) の使用状況を、図 1-2-1-d にメディア (雑誌) の使用状況を示した。また、図 1-2-2 に性・学年別の「友人との会話」得点を示した。

① 平日のビデオや DVD 視聴時間

「ほとんど見ない」と「1 時間未満」と答えた者の割合を合わせると、男女ともすべての学年において 50% を超えていた (図 1-2-1-a)。一方、3 時間以上見ている者の割合は 10% 程度であった。また、男女ともに、中学生と高校生との間に明確な違いがあり、中学生よりも高校生の視聴時間が短い傾向にあった。

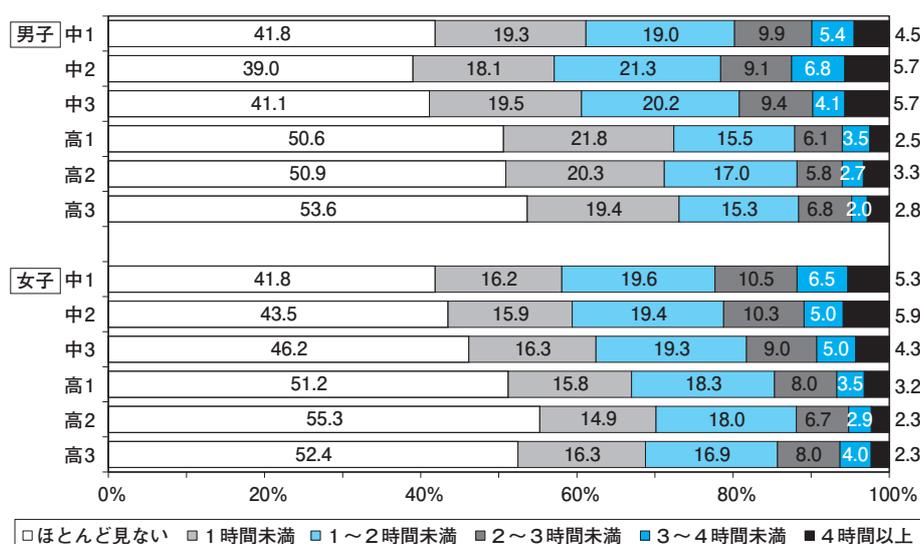


図 1-2-1-a 性・学年別のメディア (ビデオや DVD) の使用状況

②平日のテレビ視聴時間

「ほとんど見ない」から「4時間以上」まで、比較的均等に分布していた（図1-2-1-b）。「ほとんど見ない」と「1時間未満」と答えた者の割合を合わせると15～30%であり、3時間以上の者の割合も同程度であった。最も回答が多かったのは「1～2時間未満」であり、25～30%程度であった。

学年別に見ると、学年が上がるにつれて視聴時間は短くなる傾向にあり、特に中学生と高校生の中に明確な違いがあった。性差に関しては、高校では、女子が男子よりも視聴時間が長い傾向にあった。

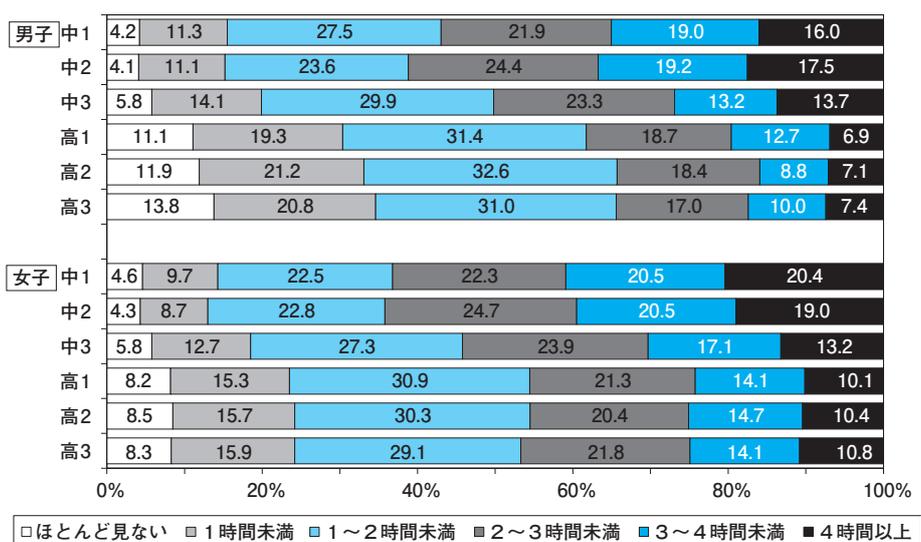


図1-2-1-b 性・学年別のメディア（テレビ）の使用状況

③1ヶ月あたりに読むマンガの冊数

男女とも、「ほとんど読まない」から「6冊以上」まで、比較的均等に分布していた（図1-2-1-c）。女子は男子に比べて読む冊数が少なかった。また、女子では、学年が上がるにつれて、読む冊数が減っていく傾向が顕著であった。

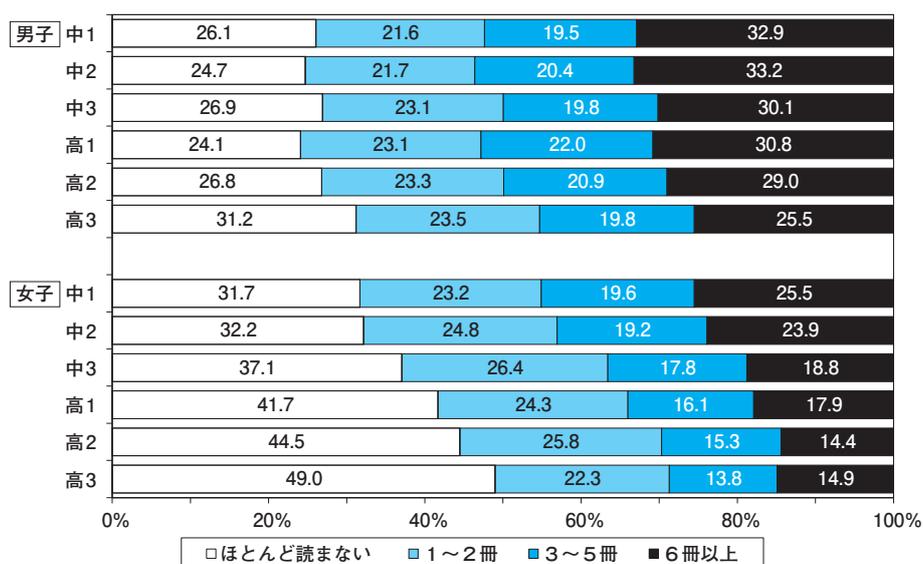


図 1-2-1-c 性・学年別のメディア（マンガ）の使用状況

④ 1ヶ月あたりに読む雑誌（マンガ雑誌は含まない）の冊数

男女とも、「ほとんど読まない」と「1~2冊」という回答が80~90%を占めた（図 1-2-1-d）。1冊以上雑誌を読んでいる割合はすべての学年で女子が男子を上回っており、女子では、60%以上の生徒が1冊以上雑誌を読んでいた。なお、男子では学年が上がるにつれて1冊以上雑誌を読んでいる割合が高くなる傾向にあった。

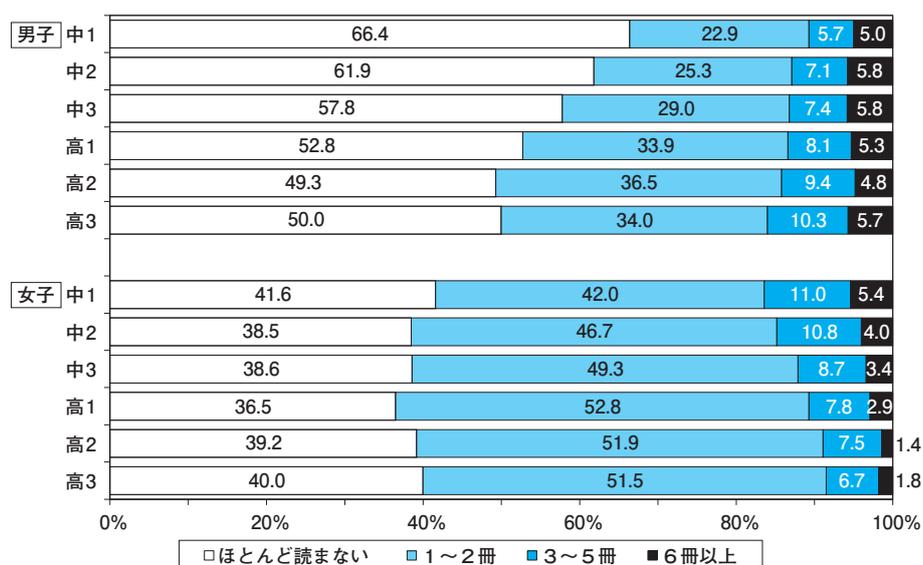


図 1-2-1-d 性・学年別のメディア（雑誌）の使用状況

⑤体型・スタイルに関する友人との会話

体型・スタイルに関する「友人との会話」得点は、性差が大きく、女子は男子に比べて得点が高かった（図 1-2-2）。つまり、女子は男子に比べて、体型・スタイルについて友人との会話を多くしている傾向が示された。男女ともに学年が上がるにつれて「友人との会話」得点は高くなる傾向にあった。

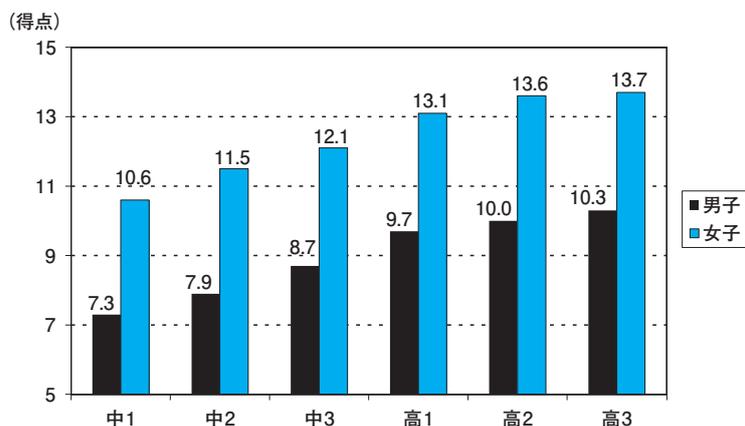


図 1-2-2 性・学年別の「友人との会話」得点

(3) メディア情報の影響

①プレッシャー

図 1-3-1 に性・学年別の「プレッシャー」得点を示した。「プレッシャー」得点は、中学1年の時点ですでに女子の得点が男子の得点を大きく上回っていた。女子では、中学生期は学年が高くなるにつれて得点が次第に高くなったが、高校では変化は小さかった。一方、男子では、中学、高校を通じて学年変化は顕著ではなかった。したがって、「プレッシャー」得点は中学生期に男女差が拡大していき、高校生では差が大きいままで一定していた。

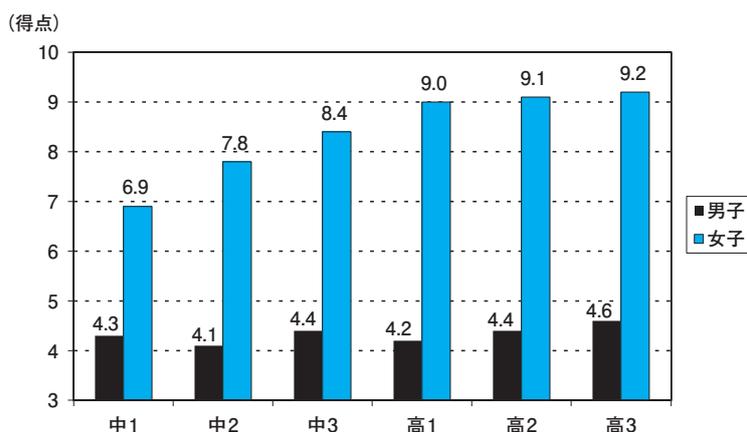


図 1-3-1 性・学年別の「プレッシャー」得点

②情報の重要性

図 1-3-2 に性・学年別の「情報の重要性」得点を示した。学年の別を問わず女子の得点は男子より高かった。

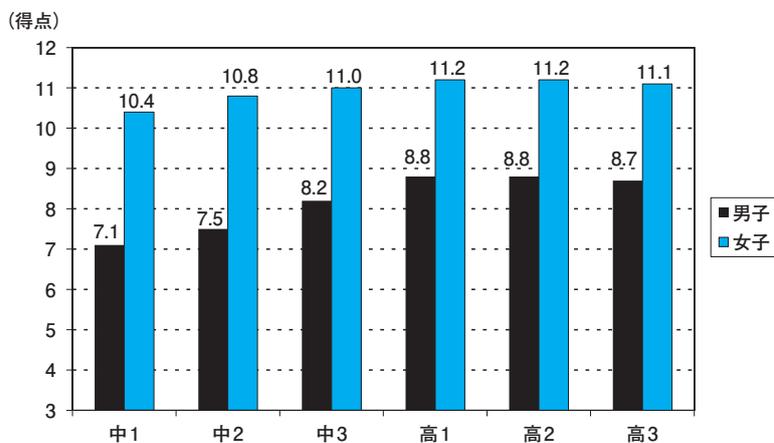


図 1-3-2 性・学年別の「情報の重要性」得点

③内面化

図 1-3-3 に性・学年別の「内面化一般」得点を示した。すべての学年において女子の得点は男子の得点を大きく上回っていた。

中学生期では、女子の「内面化一般」得点は学年とともに上昇していた。一方、高校では変化はみられなかった。男子においては中学、高校を通じて得点は学年が上がるにつれて高くなった。

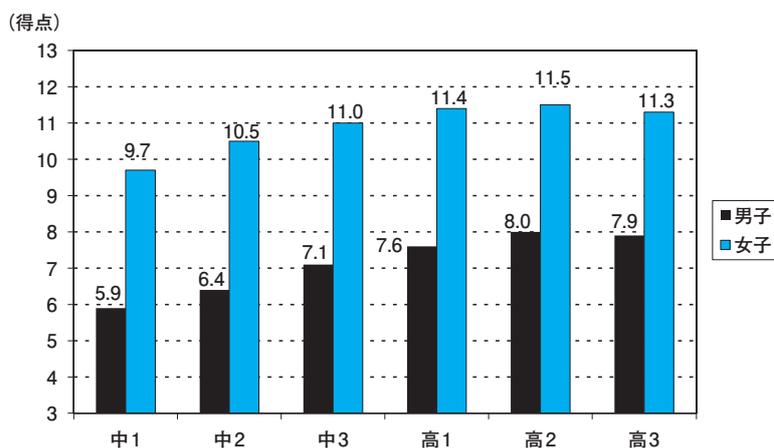


図 1-3-3 性・学年別の「内面化一般」得点

図 1-3-4 に性・学年別の「内面化スポーツ」の得点を示した。「プレッシャー」、「情報の重要性」、「内面化一般」とは異なり、すべての学年において男子の得点は女子よりも高かった。男子の「内面化スポーツ」得点は、女子の「内面化一般」得点と同じように、中学生期に上昇して高校生期では低下していく傾向にあった。女子でも、男子ほど顕著ではないものの、中学生期に上昇し、高校生期に低下していた。

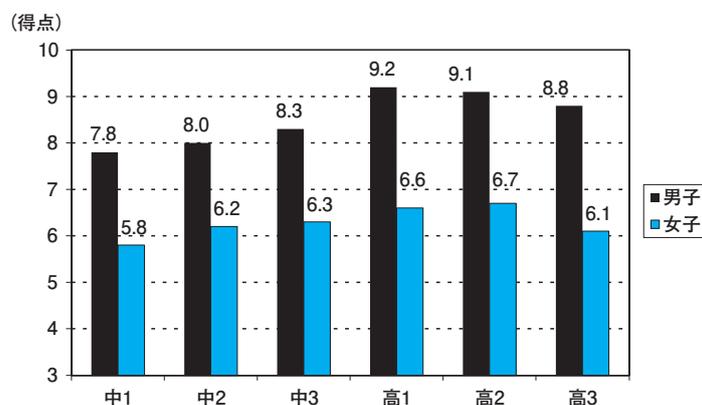


図 1-3-4 性・学年別の「内面化スポーツ」得点

(4) セルフエスティーム

図 1-4-1 に性・学年別のセルフエスティーム「全般」の得点を示した。男女ともに中学 1 年から高校 1 年にかけて得点は低下する一方、高校生期には一定していた。また、学年の別を問わず、男子の得点は女子の得点に比べて高かった。

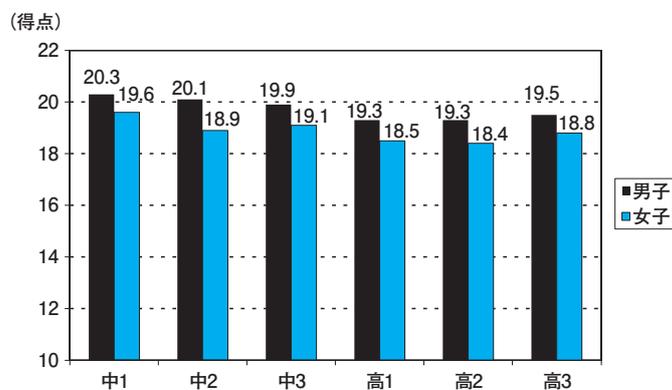


図 1-4-1 性・学年別のセルフエスティーム「全般」得点

表 1-4-1 には、同一の尺度を用いて、川畑らが 2000 年 11 月から 2001 年 1 月にかけて実施した全国調査の結果を示した。中学 1 年から高校 1 年にかけて男女ともに得点が低下すること、男子の得点は女子の得点に比べて高いことなど、今回の調査結果と傾向は一致していた。

表 1-4-1 性・学年別のセルフエスティーム「全般」得点

	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
男子	20.6	20.1	20.3	19.9	19.4	20.1
女子	19.1	19.0	18.8	18.4	18.7	19.7

(川畑徹朗他：青少年のセルフエスティームと喫煙、飲酒、薬物乱用行動との関係．学校保健研究 46:612-627. 2005)

図 1-4-2 に性・学年別のセルフエスティーム「家族」の得点を示した。男女ともに中学 1 年から中学 3 年にかけて得点は低下する一方、高校では男子はほぼ一定しており、女子は高校 1 年から高校 3 年にかけてやや上昇した。また、性差については、中学 1 年と中学 2 年では男子の得点は女子の得点に比べて高かったが、高校 3 年では逆に女子の得点が男子より高かった。

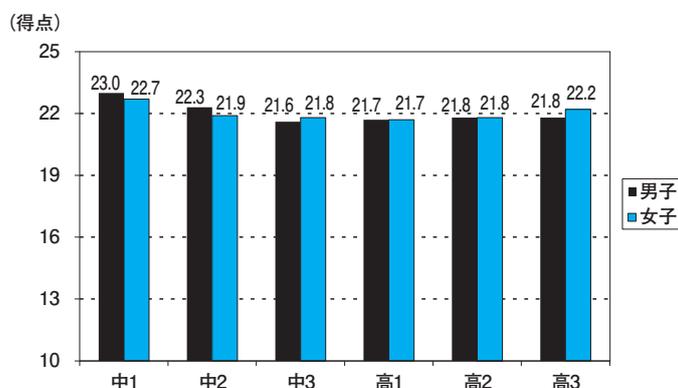


図 1-4-2 性・学年別のセルフエスティーム「家族」得点

表 1-4-2 には、前述の川畑らによる全国調査の結果を示した。中学生期には男女ともに得点が低下すること、中学 1 年では男子の得点は女子の得点に比べて高い一方、高校 3 年では女子の得点は男子よりも高いことなど、今回の調査結果と傾向は一致していた。

表 1-4-2 性・学年別のセルフエスティーム「家族」得点

	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
男子	22.2	21.3	21.1	20.8	20.7	21.1
女子	21.4	21.5	21.0	21.1	21.2	21.8

(川畑徹朗他：青少年のセルフエスティームと喫煙、飲酒、薬物乱用行動との関係．学校保健研究 46:612-627. 2005)

図 1-4-3 に性・学年別のセルフエスティーム「身体」の得点を示した。男女ともに中学 1 年から高校 1 年にかけて得点は低下する一方、高校では男子はほぼ一定しており、女子は高校 1 年から高校 3 年にかけてやや上昇した。また、学年の別を問わず男子の得点は女子の得点に比べて高かった。

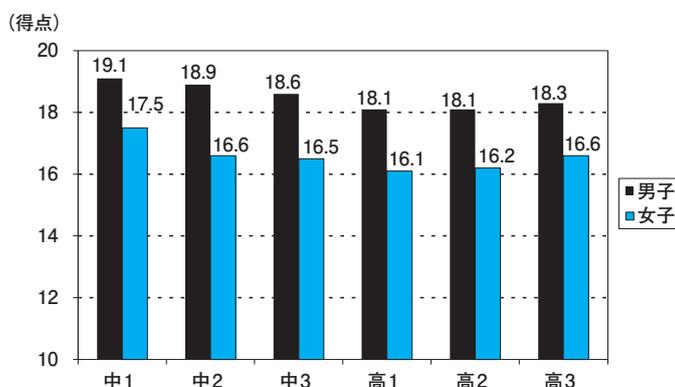


図 1-4-3 性・学年別のセルフエスティーム「身体」得点

表 1-4-3 には、同一の尺度を用いて、川畑らがH県I市の2校の中学1年生384人を対象として、1996年から3年間にわたって実施した縦断調査の結果を示した。なお、調査は毎年11月から1月にかけて実施された。

中学生期には男女ともに得点が低下すること、男子の得点は女子の得点に比べて高いことなど、今回の調査結果と傾向は一致していた。

表 1-4-3 性・学年別のセルフエスティーム「身体」得点

	中1	中2	中3
男子	20.0	19.9	19.5
女子	17.5	17.1	16.9

(川畑徹朗他：思春期のセルフエスティーム、ストレス対処スキルの発達と喫煙行動との関係．学校保健研究 43:399-411. 2001)

(5) 身体不満足とダイエット行動

図 1-5-1 に性・学年別の身体不満足得点を示した。すべての学年において女子の得点は男子を上回っており、全体として女子が自分の体型に対して不満を感じていた。女子では、中学1年ですでに男子よりも身体不満足得点が高く、その後、高校1年まで徐々に高くなり、高校1年以降は高いままで一定していた。一方、男子では、中学1年に比べて中学2年から高校にかけてやや高い値であったが、女子と比較するとその増加は顕著ではなかった。そのため、男女差は中学校の間に拡大し、高校生になるとほぼその差は一定となる傾向を示した。

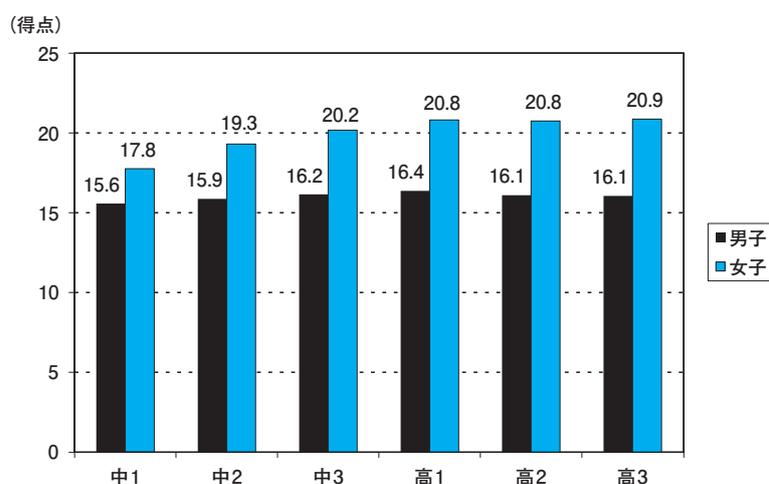


図 1-5-1 性・学年別の身体不満足得点

図 1-5-2 に性・学年別のダイエット行動を示した。男子では「思ったことはない」と回答した者が最も多く、「やせたいと思って実行した」、「したいと思ったが、まだ実行していない」が続いた。

女子では中学1年の25.5%が「やせたいと思って実行した」と答えていた。そして、学年が上がるにつれて「やせたいと思って実行した」と回答した者の割合が増加し、高校3年では63.0%がダイエットを経験していた。また、「したいと思ったが、まだ実行していない」と回答した者の割合は26.5～40.0%であった。

表 1-5-1 に示した、中・高校生のダイエット行動に関する過去の全国データと比較すると、男女ともに本調査のほうが「やせたいと思って実行した」と回答した者の割合が高く、「したいと思ったが、まだ実行していない」と回答した者の割合が低かった。

なお、「太り過ぎと医師や先生に言われ、指導を受けて実行した」と回答した者の割合は性・学年の別を問わずきわめて低かったため、変数間の関連性の分析では除外することとした。

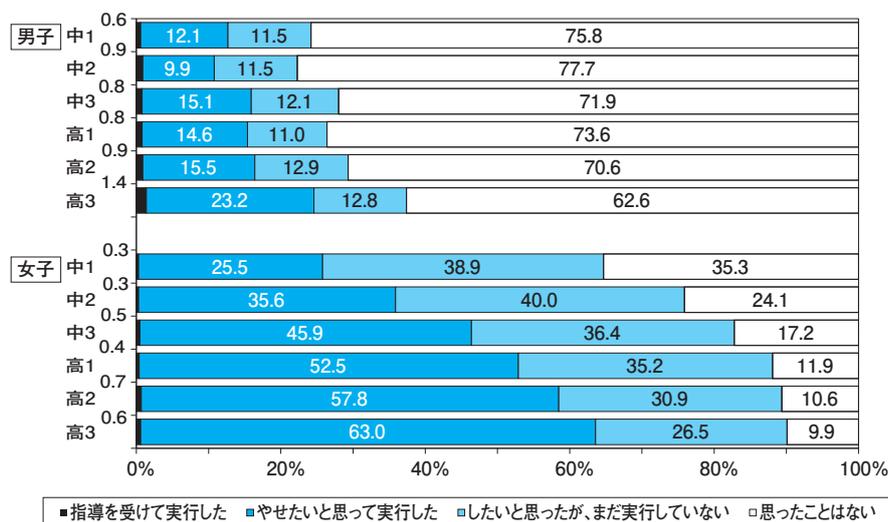


図 1-5-2 性・学年別のダイエット行動

表 1-5-1 性・学校種別のダイエット行動

ダイエット行動 (%)	指導を受けて実行した	やせたいと思って実行した	したいと思ったが、まだ実行していない	思ったことはない
中学男子	0.7	8.5	14.8	76.1
高校男子	0.9	11.1	18.1	70.0
中学女子	0.4	27.2	45.6	26.9
高校女子	0.6	40.4	46.3	12.8

(日本学校保健会：平成 22 年度児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書)

(6) 喫煙、飲酒行動

① 喫煙行動

図 1-6-1 に性・学年別の生涯喫煙経験率を示した。男子では中学 1 年 5.6%、高校 3 年 15.3%、女子では中学 1 年 4.2%、高校 3 年 11.6%であり、男女ともに学年が上がるにつれて生涯喫煙経験率は概ね上昇する傾向にあった。また、すべての学年において男子の方が女子よりも高かった。大井田らによる 2009 年の調査結果と比較すると、性・学年の別を問わず今回の調査結果の方が低かった (表 1-6-1)。

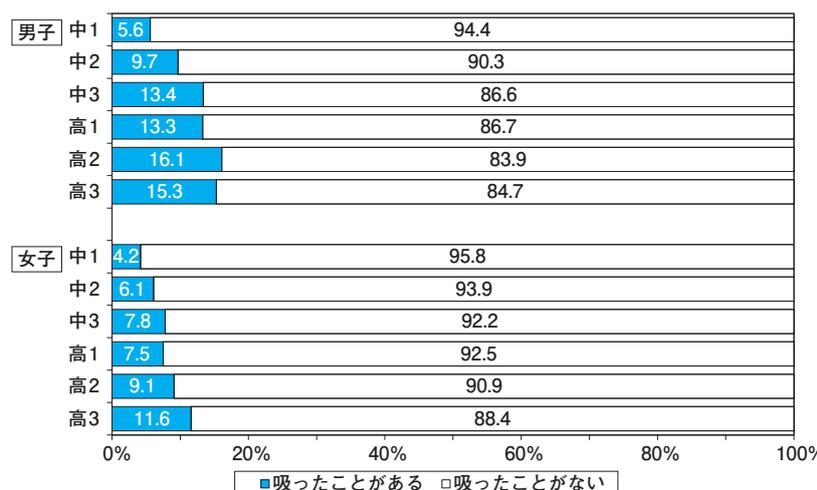


図 1-6-1 性・学年別の生涯喫煙経験率

表 1-6-1 性・学年別の生涯喫煙経験率及び月喫煙率

生涯喫煙経験率 (%)						
	中1	中2	中3	高1	高2	高3
男子	9.4	12.7	14.8	20.6	25.7	28.8
女子	6.7	10.0	11.6	14.0	16.2	17.5
月喫煙率 (%)						
男子	1.8	3.5	4.1	7.2	10.2	13.3
女子	1.2	2.2	2.8	4.0	4.5	5.6

(大井田隆他：未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究，2009)

図 1-6-2 に性・学年別の月喫煙率を示した。男子では中学 1 年 1.2%、高校 3 年 4.4%、女子では中学 1 年 0.7%、高校 3 年 2.3%であり、男女ともに学年が上がるにつれて月喫煙率は概ね上昇する傾向にあった。また、すべての学年において男子の方が女子よりも高かった。なお、本調査ではこの 1 ヶ月間に 1 本以上タバコを吸った者を月喫煙者と定義しており、大井田らの定義とは若干異なるものの、大井田らの 2009 年の調査結果と比較すると、性・学年の別を問わず今回の調査結果の方が低かった (表 1-6-1)。

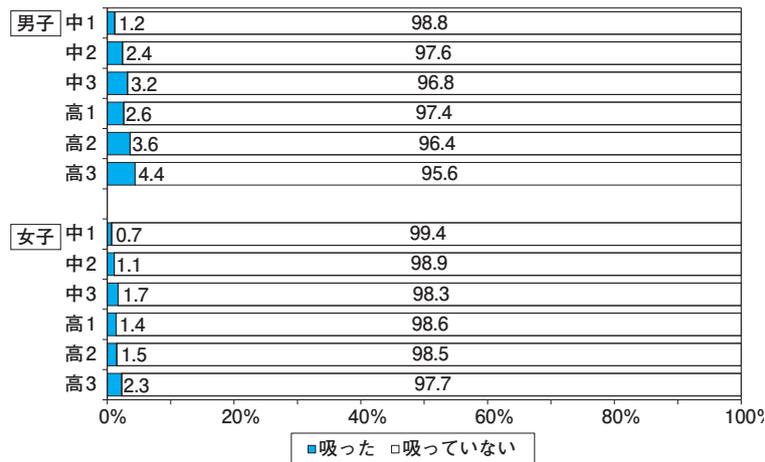


図 1-6-2 性・学年別の月喫煙率

② 飲酒行動

図 1-6-3 に性・学年別の生涯飲酒経験率を示した。男子では中学 1 年 38.4%、高校 3 年 58.4%、女子では中学 1 年 34.8%、高校 3 年 63.1%であり、男女ともに学年が上がるにつれて生涯飲酒経験率は上昇する傾向にあった。また、中学 1、2 年では男子の方が女子よりも高く、高校 3 年では女子の方が高かった。

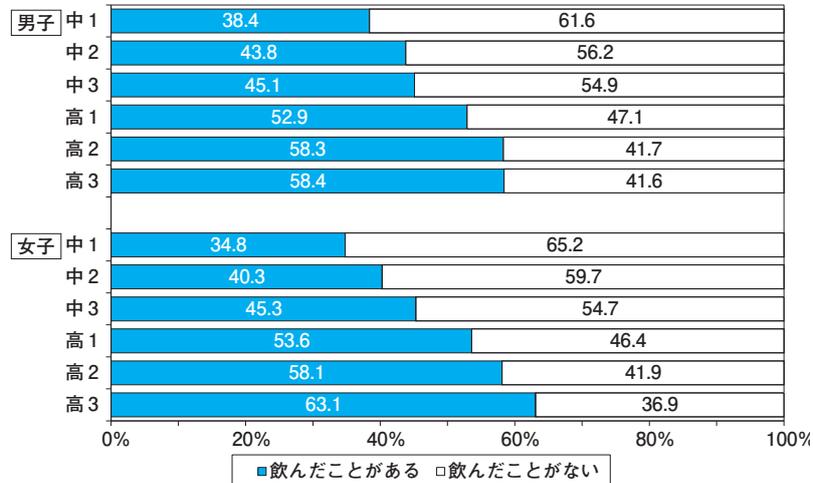


図 1-6-3 性・学年別の生涯飲酒経験率

図 1-6-4 に性・学年別の月飲酒率を示した。男子では中学 1 年 6.8%、高校 3 年 17.4%、女子では中学 1 年 5.6%、高校 3 年 18.1%であり、男女ともに学年が上がるにつれて月飲酒率は上昇する傾向にあった。また、中学 1、2 年では男子の方が女子よりも高く、高校 2、3 年では女子の方が高かった。なお、本調査ではこの 1 ヶ月間に飲酒した者を月飲酒者と定義しており、大井田らの定義とは若干異なるものの、大井田らの 2009 年の調査結果と比較すると、性・学年の別を問わず今回の調査結果の方が低かった (表 1-6-2)。

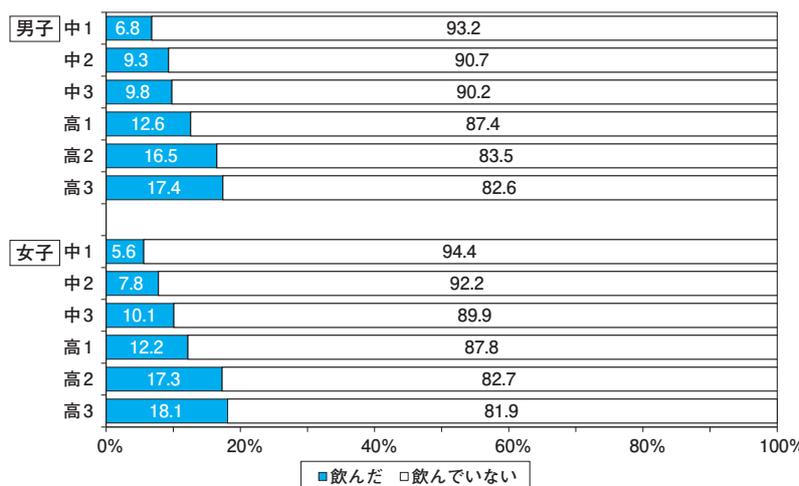


図 1-6-4 性・学年別の月飲酒率

表 1-6-2 性・学年別の月飲酒率

月飲酒率 (%)	中1	中2	中3	高1	高2	高3
男子	8.0	10.3	11.8	17.8	22.6	27.9
女子	8.3	11.6	12.6	17.3	21.5	23.7

(大井田隆他：未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究，2009)

2) 変数間の関連性の結果

(1) メディアの使用状況とメディア情報の影響

マンガ及びビデオやDVDの使用状況とメディア情報の影響との関係は、雑誌やテレビに比べてほぼ同程度あるいはやや弱いものであったため、ここでは雑誌とテレビの二つを取り上げて、主要な結果を示すこととする。

① 1ヶ月あたりに読む雑誌（マンガ雑誌は含まない）の冊数

図 2-1-1 に示したように、「プレッシャー」得点は、読む雑誌の冊数が多いほど高くなり、性・学校種の別を問わず統計的に有意であった。とりわけ女子においてその傾向は顕著であった。また、「情報の重要性」得点についても、性・学校種の別を問わず統計的に有意であり、読む冊数が多いほど得点は高くなった。特に女子においてその傾向は顕著であった。

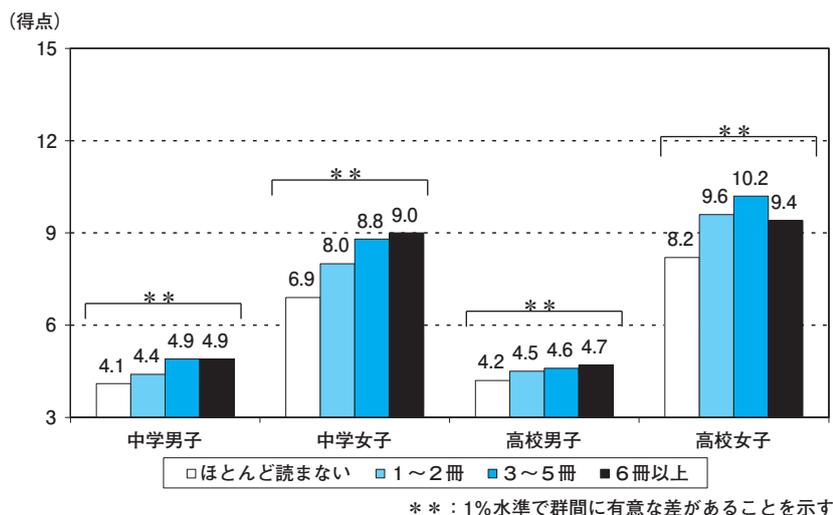


図 2-1-1 1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数別にみた「プレッシャー」得点

図 2-1-2 には、1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数別にみた「内面化一般」得点を性・学校種別に表示した。読む雑誌の冊数が多いほど得点が高くなり、性・学校種の別を問わず統計的に有意であった。

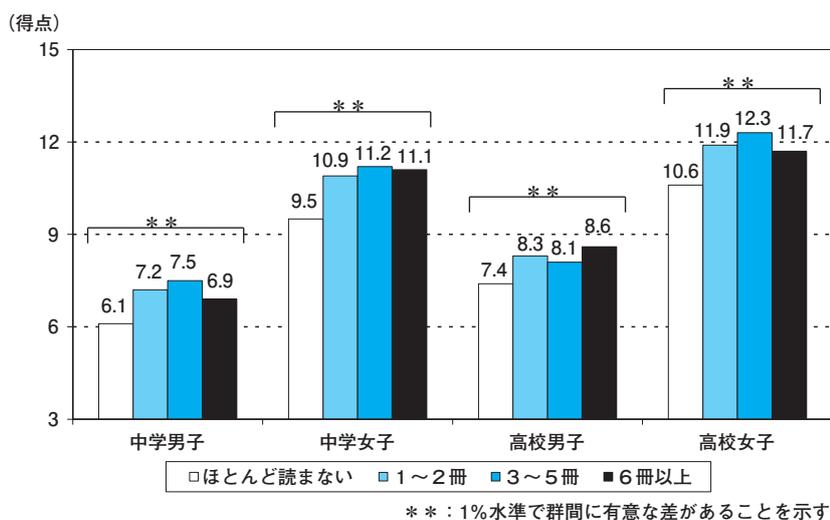


図 2-1-2 1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数別にみた「内面化一般」得点

②テレビ視聴

図 2-1-3 には、平日のテレビの視聴時間別にみた「情報の重要性」得点を性・学校種別に表示した。テレビの視聴時間についても雑誌の場合と同じ傾向が示され、視聴時間が長いほど得点が高くなった。

同様に、性・学校種の別を問わず、視聴時間が長くなるほどメディアからの「プレッシャー」得点は高くなった。

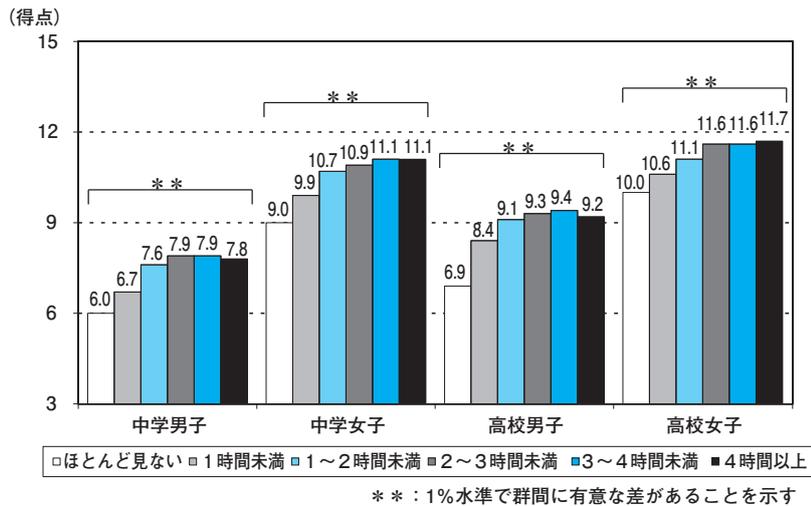


図 2-1-3 平日のテレビの視聴時間別にみた「情報の重要性」得点

「内面化一般」得点についても、性・学校種の別を問わず統計的に有意であり、雑誌の場合とほぼ同じ傾向を示した。

「内面化スポーツ」得点は、女子では関連がみられないのに対して、男子では、統計的に有意な関連が認められた（図 2-1-4）。

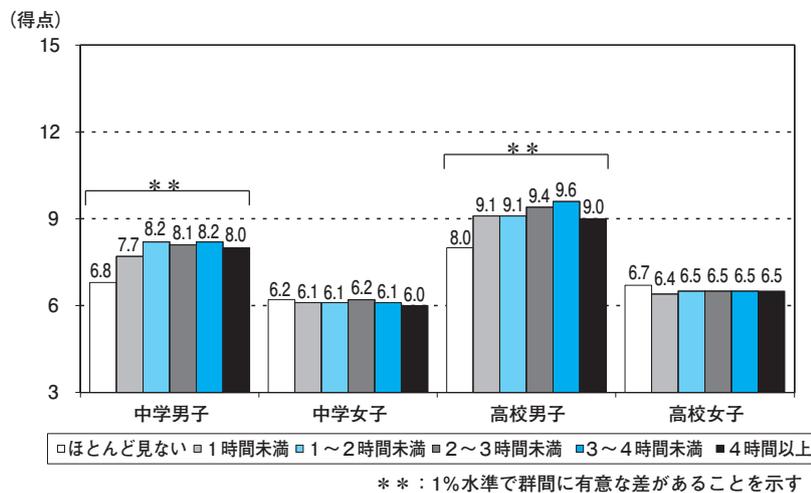


図 2-1-4 平日のテレビの視聴時間別にみた「内面化スポーツ」得点

(2) 体型・スタイルに関する友人との会話、メディアの使用状況、メディア情報の影響

図 2-2-1 には、1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数別にみた体型・スタイルについての「友人との会話」得点を示した。これによれば、性・学校種の別を問わず、読む雑誌の冊数が多いほど「友人との会話」得点が高く統計的に有意であった。ただし、6冊以上になると、むしろ得点は減少していた。

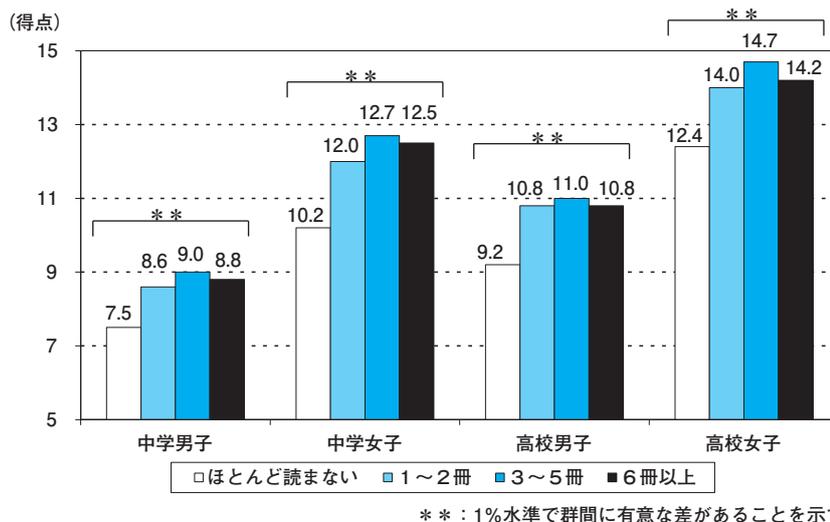


図 2-2-1 1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数別にみた「友人与の会話」得点

図 2-2-2 には、「友人与の会話」得点とメディア情報の各影響（「プレッシャー」、「情報の重要性」、「内面化一般」、「内面化スポーツ」）との相関係数を示した。中学と高校で同様の傾向を示し、「友人与の会話」得点はメディア情報の影響すべてと有意な正の相関を示していた。とりわけ、会話を多くしている者ほど「情報の重要性」と「内面化一般」得点が高くなる傾向にあった。「内面化スポーツ」に関しては男子の相関は女子より高い一方、「プレッシャー」については女子の相関は男子より高かった。

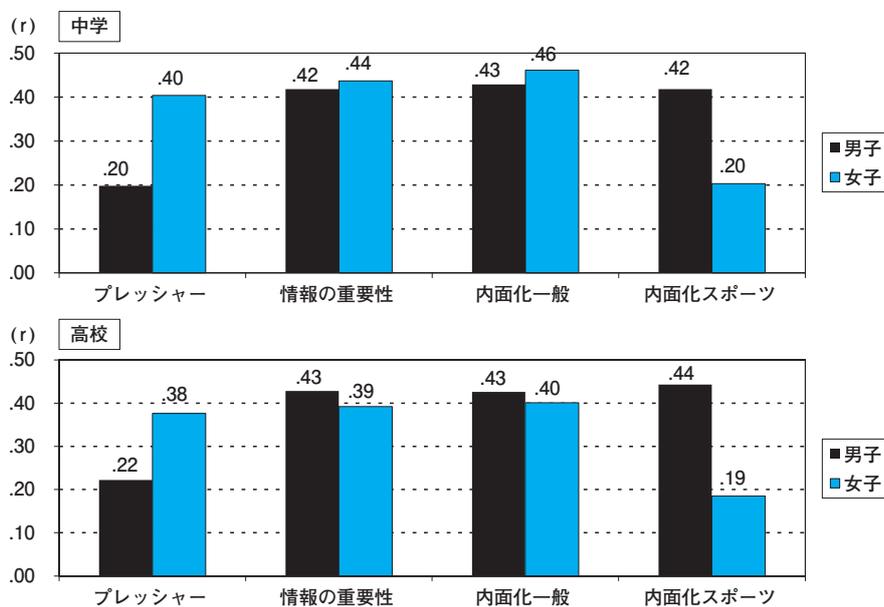


図 2-2-2 「友人与の会話」と「メディア情報の影響」の相関係数

(3) メディアの使用状況、メディア情報の影響とセルフエスティーム「身体」、身体不満足、ダイエット行動

①メディアの使用状況とセルフエスティーム「身体」、身体不満足、ダイエット行動

図 2-3-1 及び図 2-3-2 には、平日のテレビの視聴時間とセルフエスティーム「身体」及び身体不満足との関連を示した。性・学校種の別を問わず、視聴時間が長いほどセルフエスティーム「身体」が低く、身体不満足が高くなる傾向が認められた。

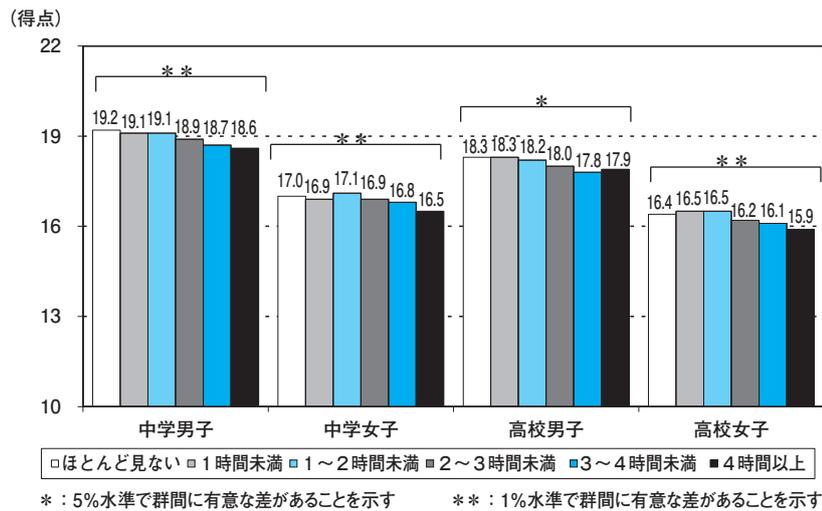


図 2-3-1 平日のテレビの視聴時間別にみたセルフエスティーム「身体」得点

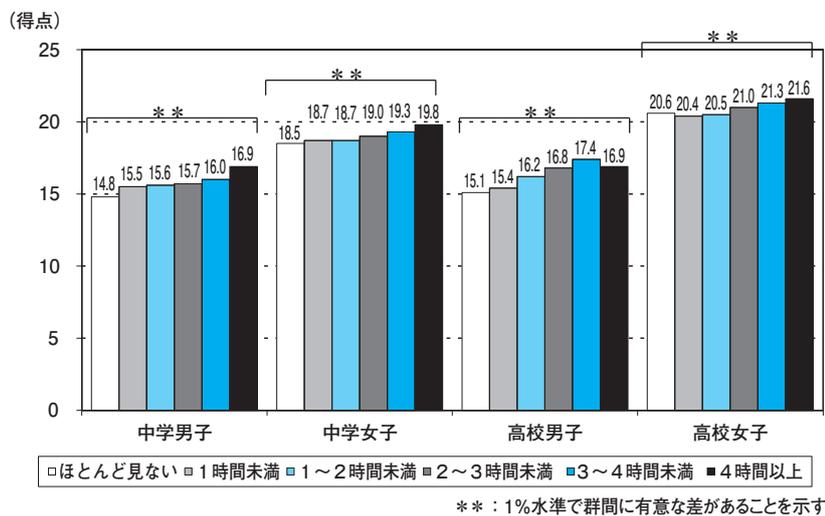


図 2-3-2 平日のテレビの視聴時間別にみた身体不満足得点

四つの種類のメディアの中で、影響の傾向に男女差がみられたのが雑誌であった。図 2-3-3 に、1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数別にみたセルフエスティーム「身体」得点を示した。中学女子のみ有意であり、雑誌を多く読んでいる者ほど、セルフエスティーム「身体」の得点が低かった。高校女子でも同様の傾向はみられたが、有意ではなかった。

図 2-3-4 には、1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数別にみた身体不満足得点を示した。女子では雑誌を多く読んでいる者ほど有意に身体不満足が高い傾向が認められた。一方、男子では、雑誌を多く読む者ほど身体不満足が低い傾向がみられ、中学男子では有意であった。

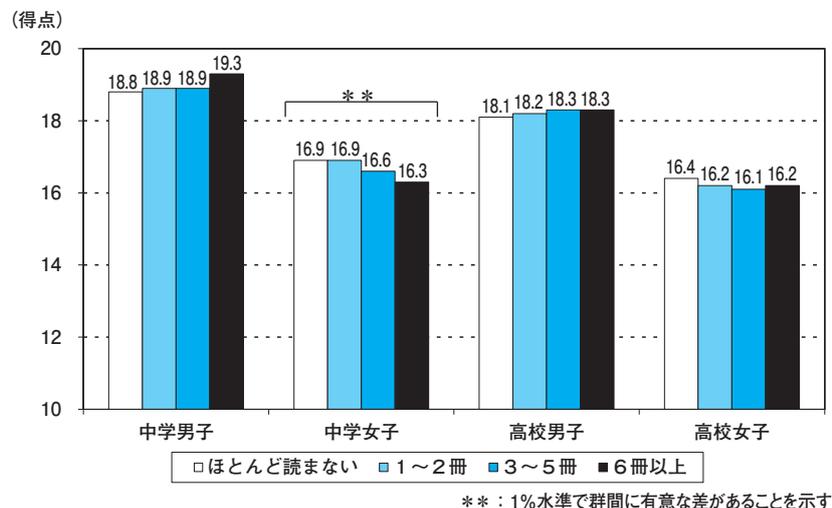


図 2-3-3 1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数別にみたセルフエスティーム「身体」得点

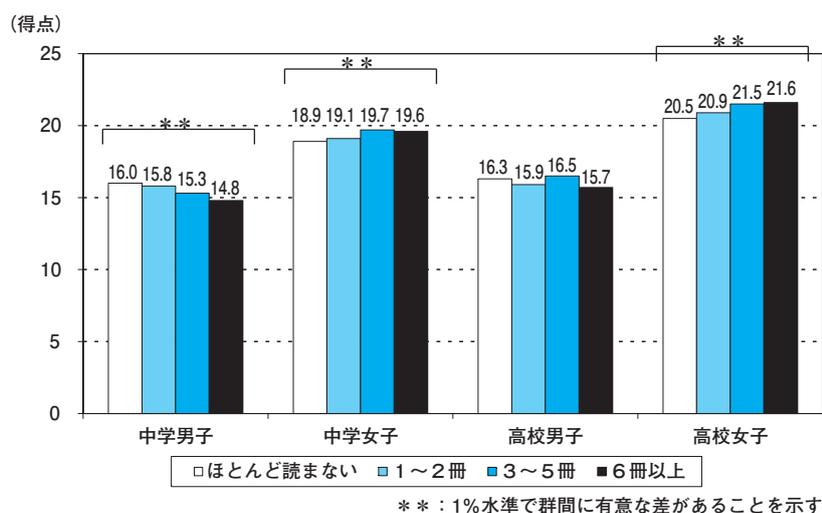


図 2-3-4 1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数別にみた身体不満足得点

メディアの使用状況とダイエット行動との関連については、全体の傾向として、メディア使用が多い者ほどダイエットを「やせたいと思って実行した」または「したいと思ったが、まだ実行していない」と回答した者が多かった。図 2-3-5、図 2-3-6 には、テレビと雑誌に関する結果を示した。これによれば、メディアの使用が多いほど、ダイエットの実行またはダイエットをしたいと思う者が多く、ダイエットをしたいと思ったことはない者が少ないという傾向が示された。

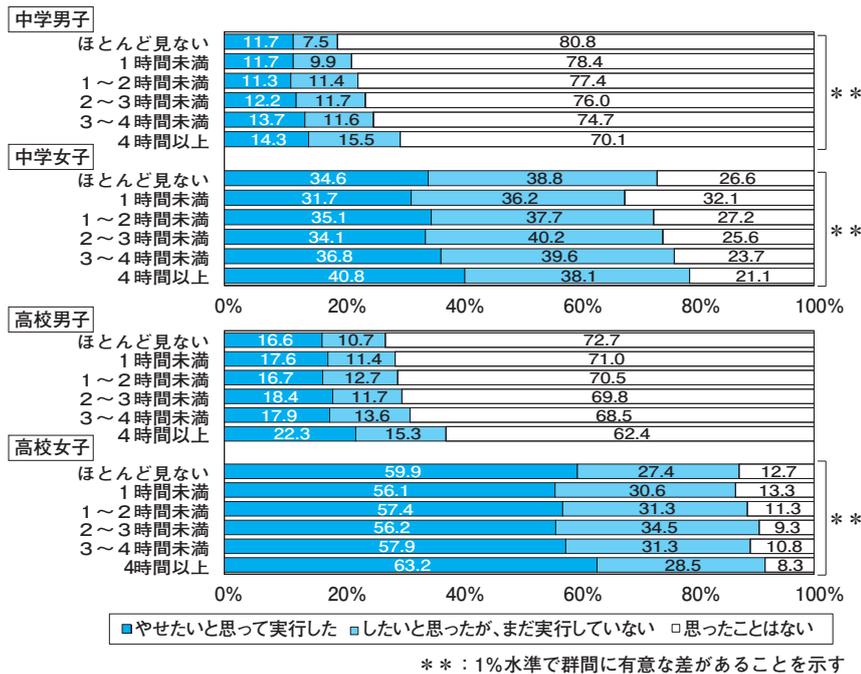


図 2-3-5 平日のテレビの視聴時間別にみたダイエット行動

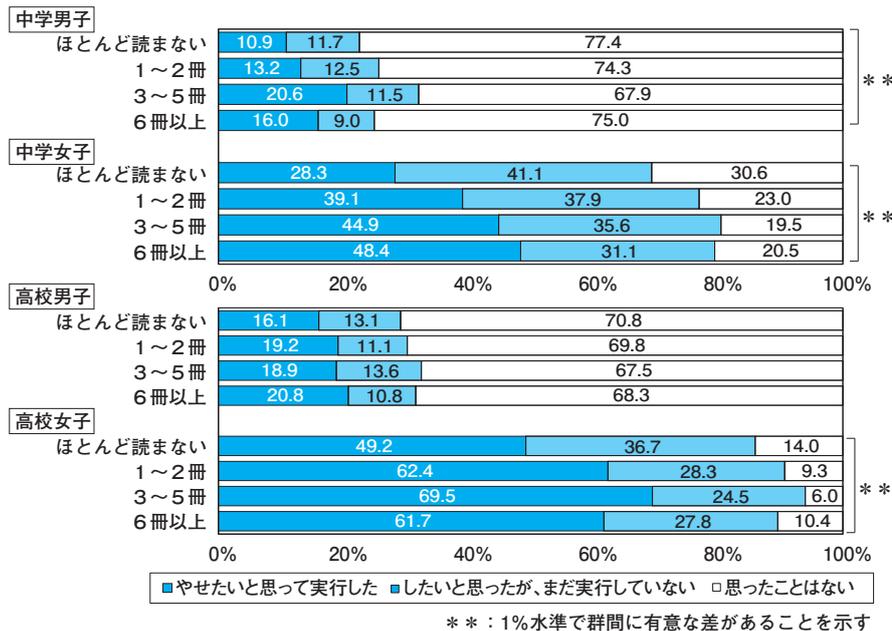


図 2-3-6 1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数別にみたダイエット行動

性・学校種別にみると、中学男子において、四つのメディアの種類すべてについて、メディアの使用が多い者は「やせたいと思って実行した」または「したいと思ったが、まだ実行していない」者が多く、メディア使用のほとんどない者では、「思ったことはない」と回答した者が多かった。高校男子では、ビデオやDVDの視聴時間のみと有意な関連がみられた。中学女子、高校女子では、ビデオやDVD視聴時間、テレビ視聴時間、読む雑誌の冊数とダイエット行動に

有意な関連がみられ、メディアの使用が多い者ほど「やせたいと思って実行した」または「したいと思ったが、まだ実行していない」と回答した者が多かった。

②メディア情報の影響とセルフエスティーム「身体」、身体不満足、ダイエット行動

図2-3-7には、四つのメディア情報の影響(「プレッシャー」、「情報の重要性」、「内面化一般」、「内面化スポーツ」)とセルフエスティーム「身体」及び身体不満足との相関係数を示した。四つのメディア情報の影響のすべてについて、セルフエスティーム「身体」と有意な負の相関、及び身体不満足と有意な正の相関がみられた。つまり、メディア情報の影響を受けているほどセルフエスティーム「身体」が低く、身体不満足が高いことが示された。ただし、中学男子においては「情報の重要性」とセルフエスティーム「身体」及び身体不満足との間には有意な相関関係はなかった。四つのメディア情報の影響の中では、特に「プレッシャー」及び「内面化一般」とセルフエスティーム「身体」、身体不満足との関連が強かった。

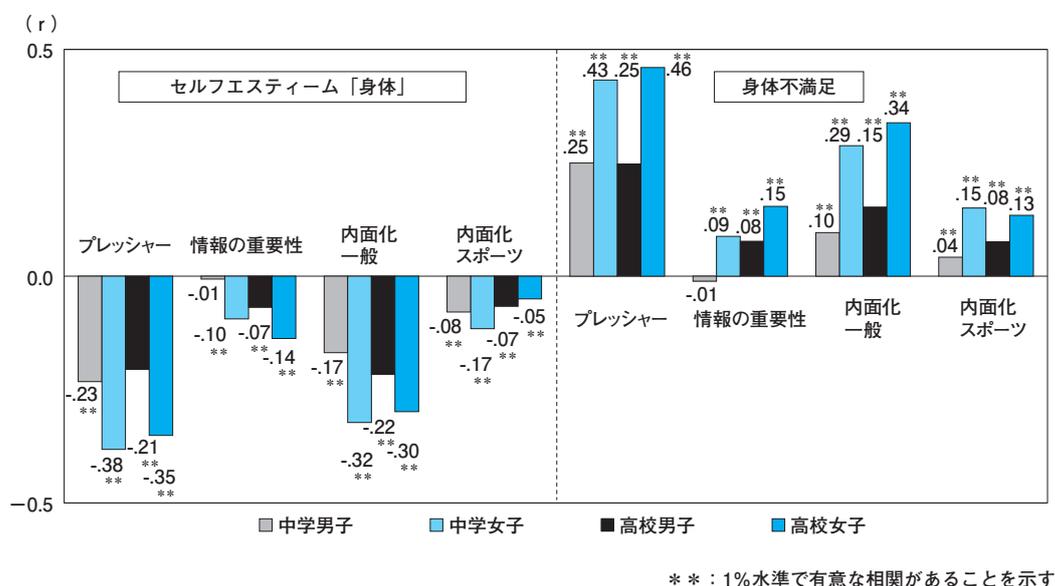
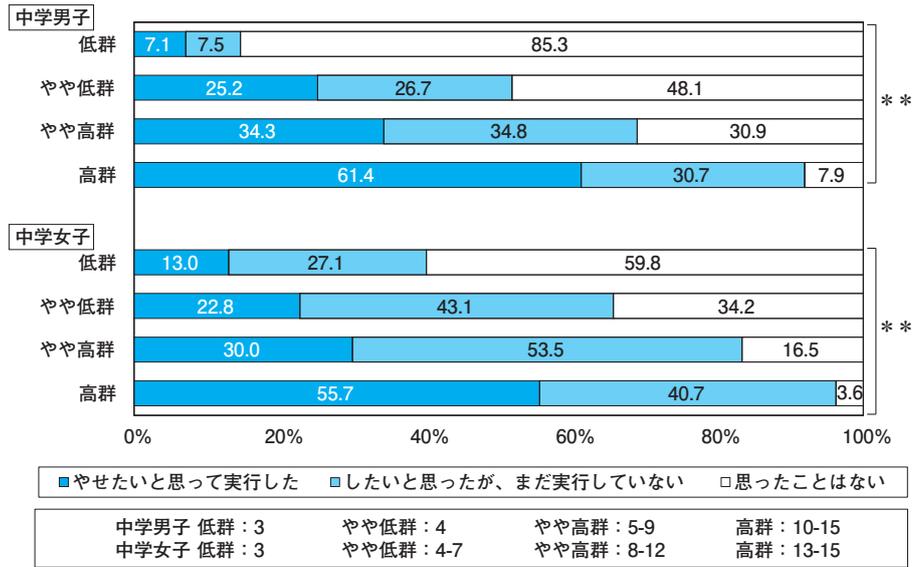


図 2-3-7 メディア情報の影響とセルフエスティーム「身体」、身体不満足得点との相関係数

以下の分析では、メディア情報の影響の各尺度と身体不満足について、性・学校種別に 25 パーセントイル値、50 パーセントイル値、75 パーセントイル値を求め、それらの得点を基準に 4 群に分け、メディア情報の影響度別によるダイエット行動について検討した。

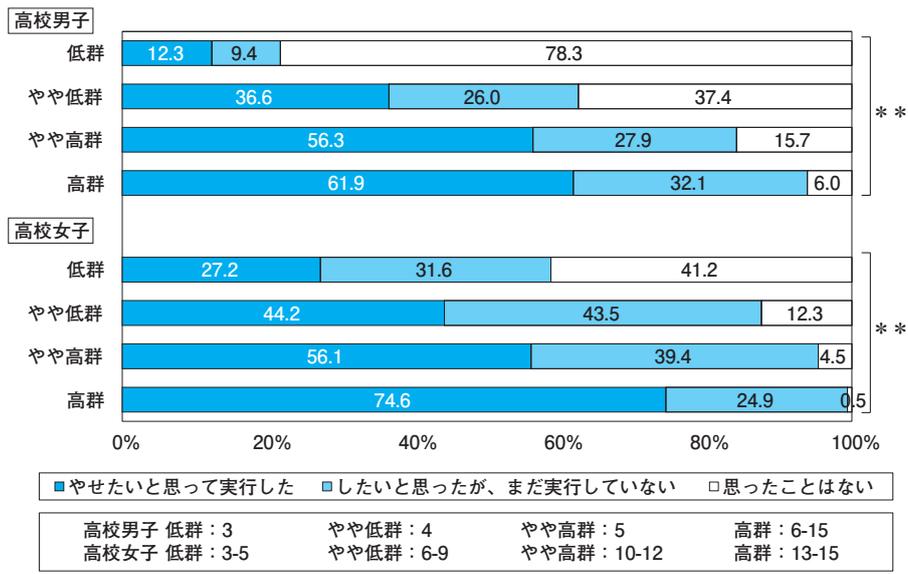
四つのメディア情報の影響すべてについて、性・学校種の別を問わず、メディア情報の影響を受けている群ほど「やせたいと思って実行した」と回答した割合が多く、メディア情報の影響をあまり受けていない群ほどダイエットをしたいと「思ったことはない」と回答した割合が多かった。図 2-3-8-a と図 2-3-8-b には、メディア情報の影響のうち、「プレッシャー」に関する結果を示した。

また図 2-3-9-a と図 2-3-9-b に示したように、身体不満足得点が高い群ほど「やせたいと思って実行した」と回答した者の割合が高かった。



**：1%水準で群間に有意な差があることを示す

図 2-3-8-a 「プレッシャー」得点群別にみたダイエット行動（中学生）



**：1%水準で群間に有意な差があることを示す

図 2-3-8-b 「プレッシャー」得点群別にみたダイエット行動（高校生）

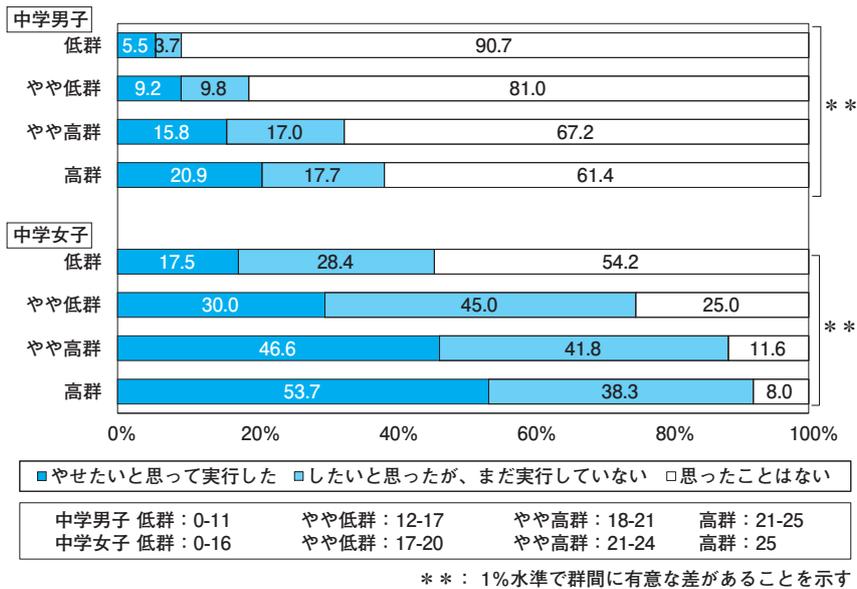


図 2-3-9-a 身体不満足得点群別にみたダイエット行動（中学生）

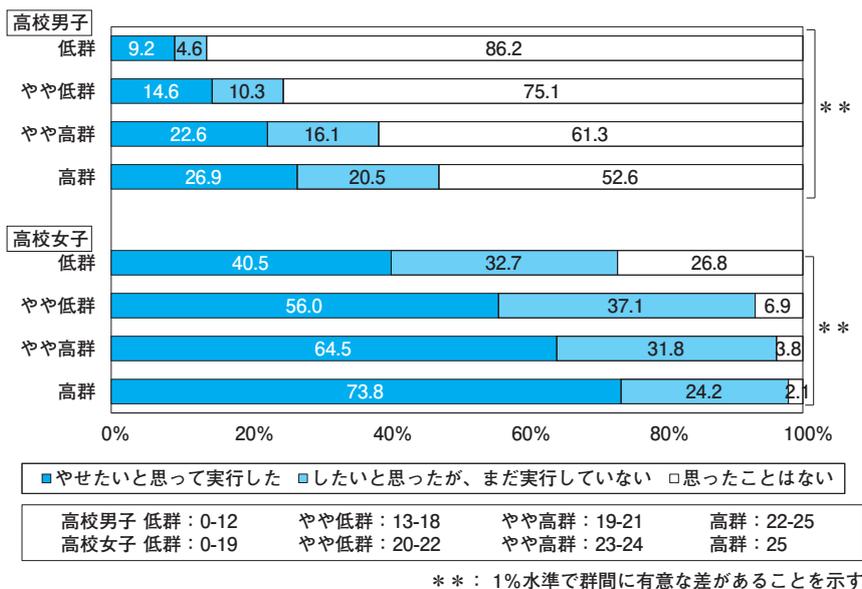


図 2-3-9-b 身体不満足得点群別にみたダイエット行動（高校生）

(4) 喫煙、飲酒行動とメディアの使用状況、身体不満足、ダイエット行動

①メディアの使用状況別にみた月喫煙率

ビデオやDVD視聴時間別にみた月喫煙率については、高校男子を除き有意な関連が認められ、性・学校種の別を問わず4時間以上の使用群で最も高くなった。テレビ視聴時間別にみた月喫

煙率についても、図2-4-1に示すように有意な関連が認められ、4時間以上の視聴で最も高くなった。高校生の場合は、ほとんど見ないと回答した生徒についても月喫煙率は高い傾向を示した。

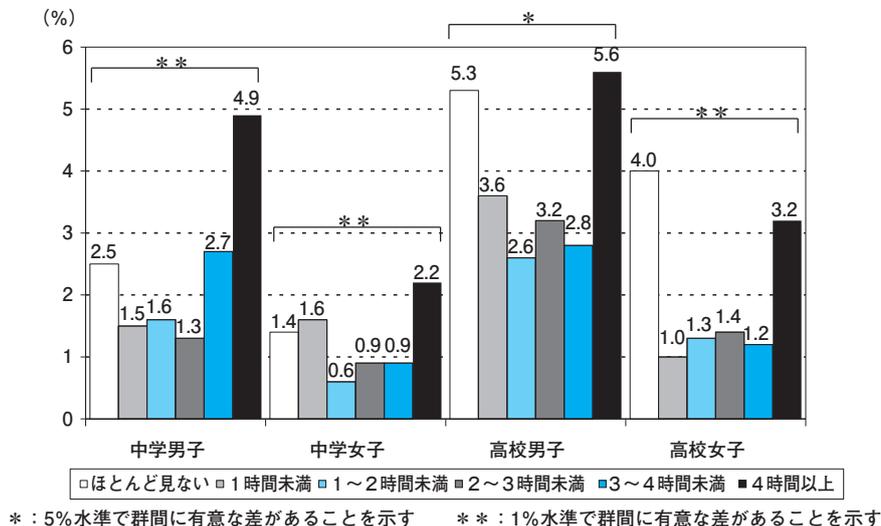


図 2-4-1 平日のテレビ視聴時間別にみた月喫煙率

1ヶ月あたりに読むマンガの冊数と月喫煙率については、中学男子のみ有意な関連が認められた。雑誌（マンガ雑誌は含まない）については、中学男子、中学女子、高校男子において有意な関連が認められた。

②月喫煙行動別にみた身体不満足

女子の喫煙者は、非喫煙者に比べて、身体不満足得点が高く、特に中学女子においては有意であった。一方男子では、中学生、高校生いずれも喫煙者、非喫煙者間に差は認められなかった(図2-4-2)。

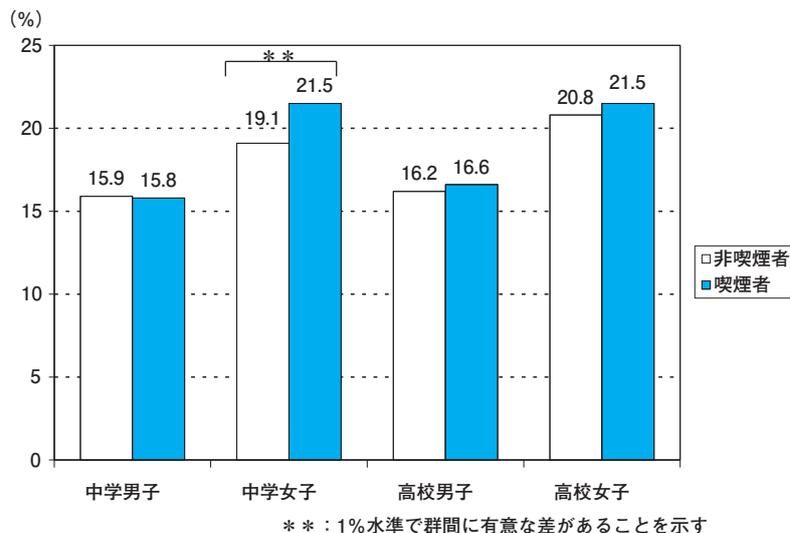


図 2-4-2 月喫煙行動別にみた身体不満足得点

③ダイエット行動別にみた月喫煙率

ダイエット行動別にみた月喫煙率は、中学女子、高校女子及び高校男子で群間に有意な差が認められ、ダイエットを「やせたいと思って実行した」と回答した者の月喫煙率が高かった（図2-4-3）。

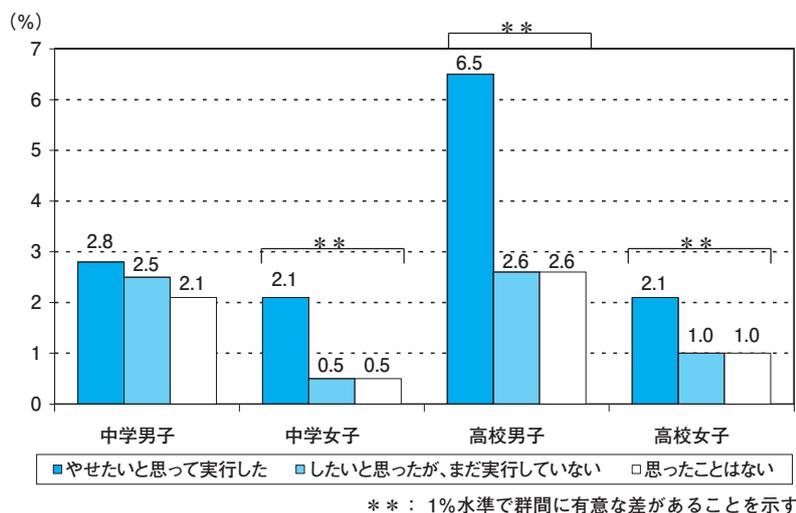


図 2-4-3 ダイエット行動別にみた月喫煙率

④メディアの使用状況別にみた月飲酒率

メディアの使用状況と月飲酒との間には、マンガを除き、性・学校種の別を問わず有意な関連が認められた。マンガについては、男子においてのみ、有意な関連が認められた。図2-4-4にテレビ視聴時間別にみた月飲酒率を示した。月飲酒率は、視聴時間が長くなるほど高くなる傾向にあったが、「ほとんど見ない」場合もやや高かった。他のメディアについてもほぼ同様の結果であり、概ね、使用時間が長くなるほど、月飲酒率が高くなる傾向にあった。

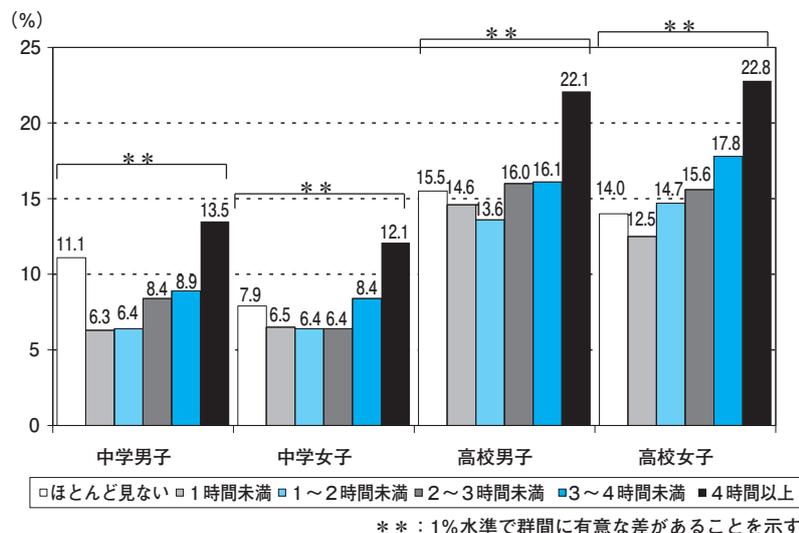


図 2-4-4 平日のテレビ視聴時間別にみた月飲酒率

⑤月飲酒行動別にみた身体不満足

月飲酒行動別にみた身体不満足得点については、女子においてのみ有意な差が認められ、飲酒者は非飲酒者に比べて身体不満足得点が高かった（図 2-4-5）。男子では、両群間に有意な差はなかった。

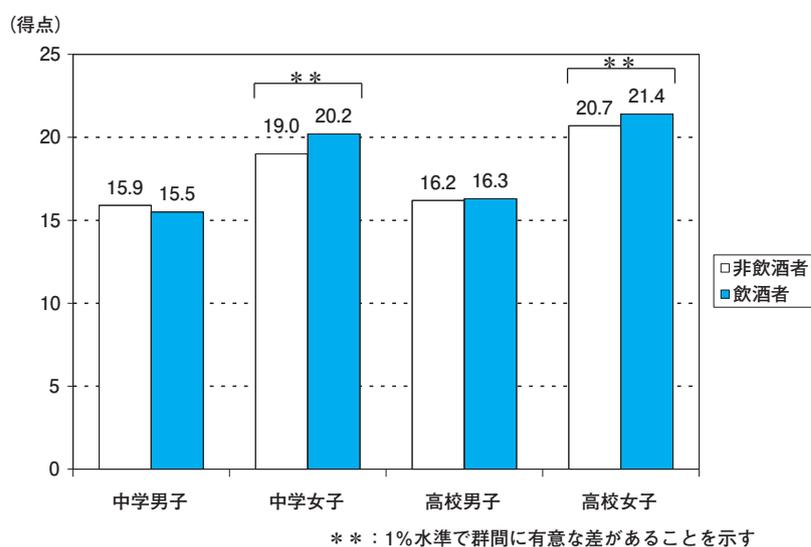


図 2-4-5 月飲酒行動別にみた身体不満足得点

⑥ダイエット行動別にみた月飲酒率

ダイエット行動別にみた月飲酒率は、中学女子、高校女子及び高校男子で群間に有意な差が認められた。性・学校種の別を問わず、ダイエットを「やせたいと思って実行した」と回答した者の月飲酒率が高かった（図 2-4-6）。

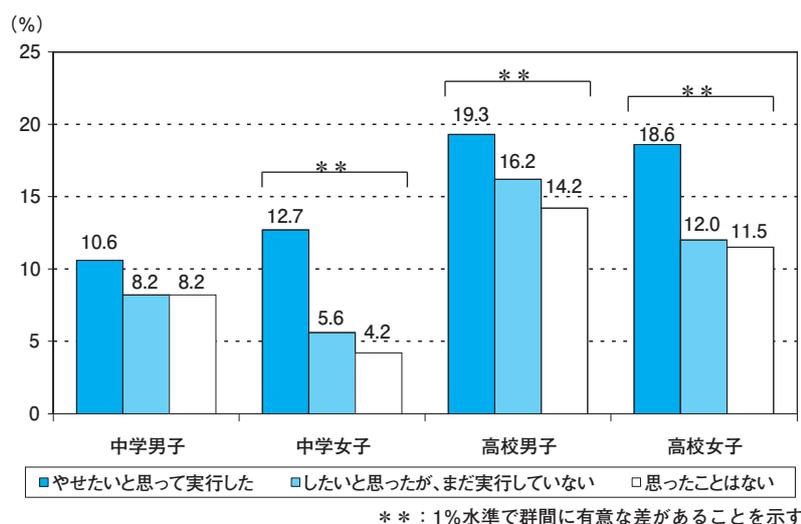


図 2-4-6 ダイエット行動別にみた月飲酒率

(5) セルフエスティームと身体不満足、ダイエット行動、喫煙、飲酒行動

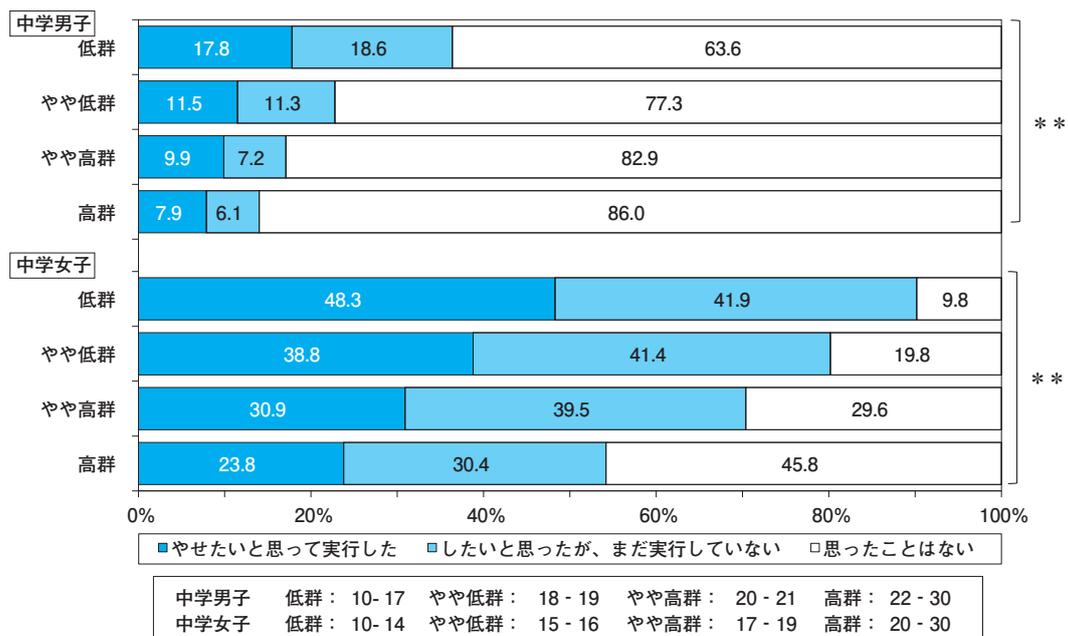
表 2-5-1 には、三つのセルフエスティーム尺度得点と身体不満足得点との相関係数を、性・学校種別に示した。相関係数はいずれも負であり、セルフエスティームが高いほど身体不満足は低くなる傾向が示された。他の尺度に比べてセルフエスティーム「身体」との相関が高く、また同尺度について女子は男子に比べて高い値を示した。

表 2-5-1 セルフエスティームと身体不満足との相関係数

	セルフエスティーム		
	全般	家族	身体
中学男子	-.38	-.27	-.49
中学女子	-.43	-.34	-.58
高校男子	-.34	-.23	-.47
高校女子	-.34	-.24	-.50

以下の分析では、セルフエスティームの各尺度について、性・学校種別に 25 パーセンタイル値、50 パーセンタイル値、75 パーセンタイル値を求め、それらの得点を基準に 4 群に分け、ダイエット行動、月喫煙、月飲酒行動との関係を検討した。

セルフエスティームとダイエット行動の関係は、すべての尺度について、性・学校種の別を問わず有意な関係が認められ、セルフエスティームが低い群ほど「やせたいと思って実行した」と回答した者の割合が高く、「思ったことはない」と回答した者の割合が低くなる傾向にあった。そして、その傾向は女子においてとりわけ顕著であった。図 2-5-1-a と図 2-5-1-b に、セルフエスティーム「身体」得点群別にみたダイエット行動を示した。



** : 1%水準で群間に有意な差があることを示す

図 2-5-1-a セルフエスティーム「身体」得点群別にみたダイエット行動（中学生）

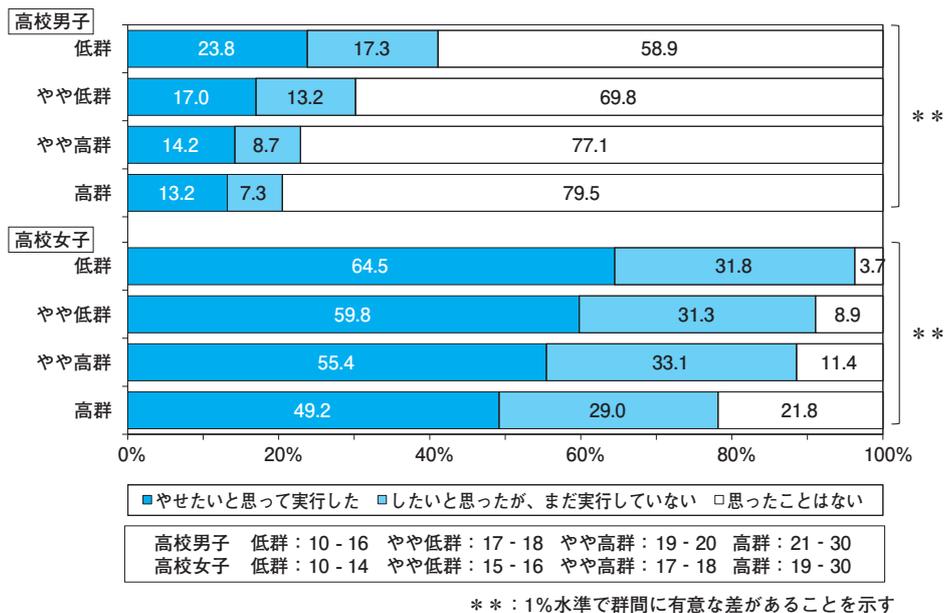


図 2-5-1-b セルフエスティーム「身体」得点群別にみたダイエット行動（高校生）

セルフエスティームと月喫煙行動との関係については、「全般」は中学女子のみ、「家族」はすべての性・学校種群において、「身体」は中学女子のみ有意な関係が認められ、いずれもセルフエスティームが低い群ほど月喫煙率は高かった。図 2-5-2-a と図 2-5-2-b に、セルフエスティーム「家族」得点群別にみた月喫煙率を示した。

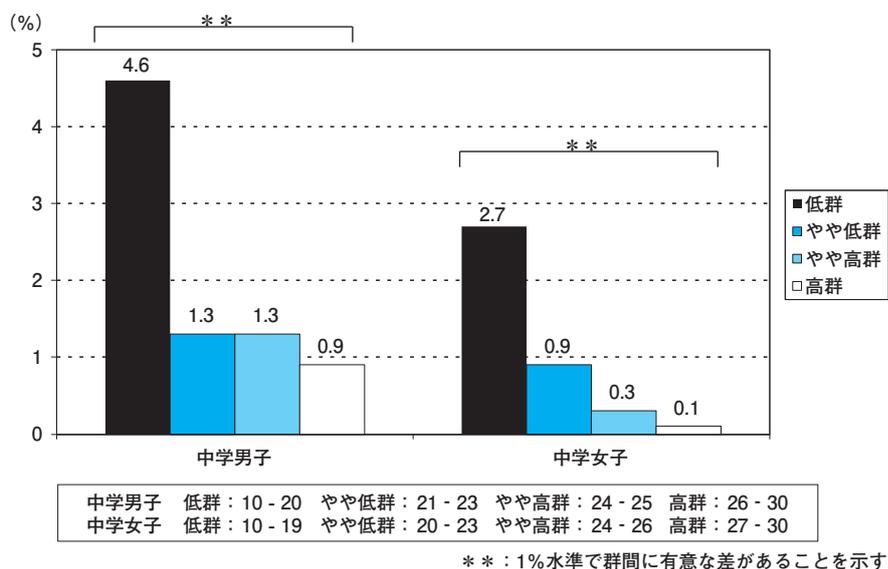


図 2-5-2-a セルフエスティーム「家族」得点群別にみた月喫煙率（中学生）

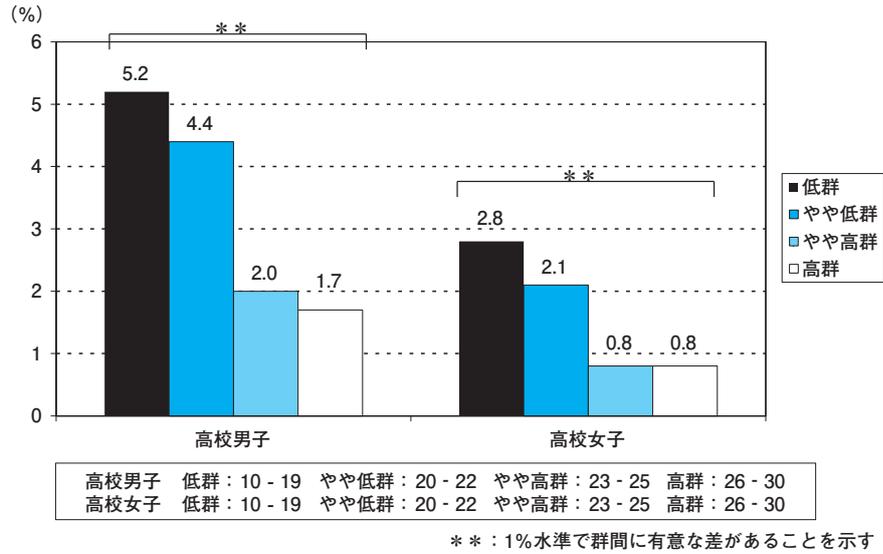


図 2-5-2-b セルフエスティーム「家族」得点群別にみた月喫煙率（高校生）

セルフエスティームと月飲酒行動との関係については、月喫煙の場合と同様に、「全般」は中学女子のみ、「家族」はすべての性・学校種群において、「身体」は中学女子のみ有意な関係が認められ、いずれもセルフエスティームの低い群ほど月飲酒率は高かった。図 2-5-3-a と図 2-5-3-b に、セルフエスティーム「家族」得点群別にみた月飲酒率を示した。

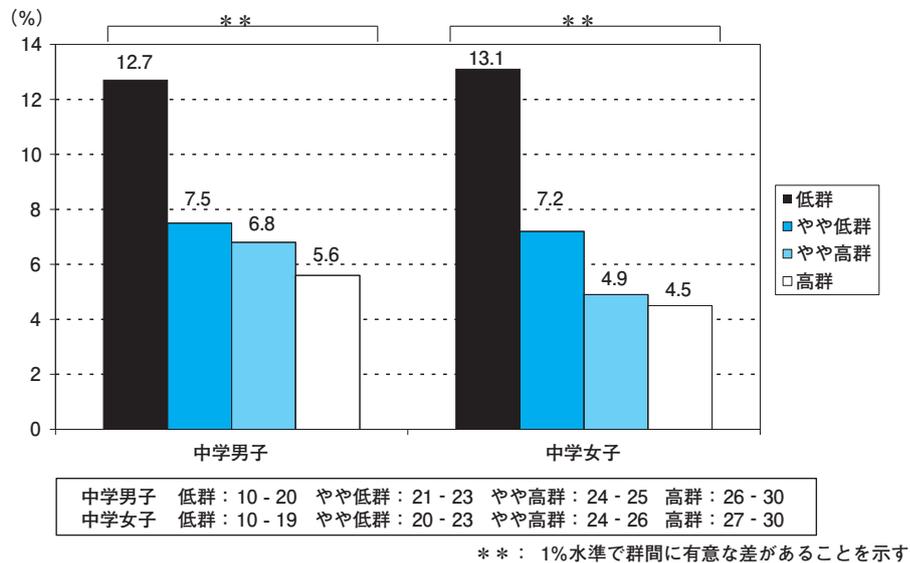


図 2-5-3-a セルフエスティーム「家族」得点群別にみた月飲酒率（中学生）

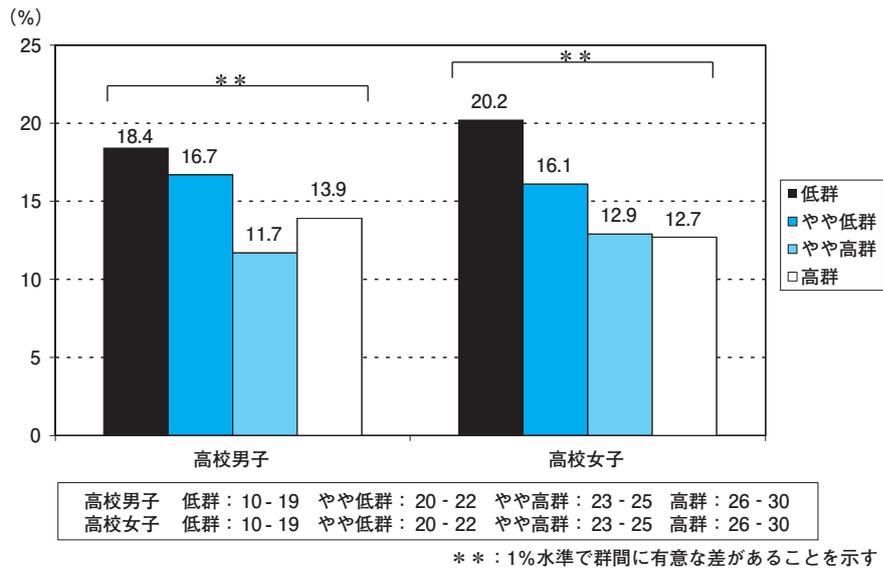


図 2-5-3-b セルフエスティーム「家族」得点群別に見た月飲酒率（高校生）



資料編

青少年の生きる力と健康行動調査 2011 メディア 集計結果

表1 身長 (cm)

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男子 標本数	1937	1959	1974	1726	1578	1429	10603
平均值	156.2	163.2	167.4	169.9	170.8	171.5	
標準偏差	8.7	7.5	6.5	5.8	6.0	6.4	
25パーセンタイル値	150.0	159.0	163.0	165.8	167.0	168.0	
50パーセンタイル値	156.0	164.0	168.0	170.0	170.0	171.0	
75パーセンタイル値	162.0	168.0	172.0	174.0	175.0	175.0	
女子 標本数	1875	1961	1900	1912	1940	1667	11255
平均值	153.7	155.8	156.9	157.1	157.7	157.6	
標準偏差	5.8	5.6	5.2	5.3	5.5	5.3	
25パーセンタイル値	150.0	152.0	153.0	153.0	154.0	154.0	
50パーセンタイル値	154.0	156.0	157.0	157.0	158.0	158.0	
75パーセンタイル値	158.0	160.0	160.0	161.0	161.8	161.0	

表2 体重 (kg)

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男子 標本数	1937	1965	1956	1716	1575	1424	10573
平均值	45.5	50.8	56.2	58.9	60.9	62.2	
標準偏差	9.9	9.5	9.4	8.7	9.5	9.7	
25パーセンタイル値	39.0	45.0	50.0	53.0	55.0	56.0	
50パーセンタイル値	45.0	50.0	55.0	58.0	60.0	60.0	
75パーセンタイル値	50.0	55.0	60.0	63.0	65.0	67.0	
女子 標本数	1780	1772	1686	1704	1703	1484	10129
平均值	43.3	46.0	48.2	49.8	50.1	50.5	
標準偏差	7.4	6.7	7.0	6.4	6.7	6.6	
25パーセンタイル値	39.0	42.0	43.0	45.0	46.0	46.0	
50パーセンタイル値	43.0	45.0	47.0	49.0	49.0	50.0	
75パーセンタイル値	47.0	50.0	52.0	54.0	54.0	54.0	

表3 BMI (kg/m²)

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男子 標本数	1904	1935	1943	1712	1570	1419	10483
平均值	18.5	19.0	20.0	20.4	20.8	21.1	
標準偏差	3.0	2.7	2.8	2.6	2.8	2.9	
25パーセンタイル値	16.6	17.3	18.3	18.7	19.0	19.4	
50パーセンタイル値	17.9	18.6	19.5	20.0	20.5	20.8	
75パーセンタイル値	19.6	20.2	21.3	21.5	22.0	22.5	
女子 標本数	1762	1764	1680	1701	1702	1482	10091
平均值	18.3	18.9	19.6	20.2	20.1	20.3	
標準偏差	2.8	2.4	2.6	2.3	2.3	2.3	
25パーセンタイル値	16.6	17.4	17.9	18.6	18.7	18.7	
50パーセンタイル値	17.8	18.6	19.1	19.9	19.8	20.0	
75パーセンタイル値	19.5	20.1	20.7	21.4	21.2	21.5	

表4 セルフエスティーム「全般」

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男子 標本数	2011	2011	1991	1732	1583	1446	10774
平均值	20.3	20.1	19.9	19.3	19.3	19.5	
標準偏差	3.6	3.5	3.6	3.4	3.6	3.8	
25パーセンタイル値	18.0	18.0	18.0	17.0	17.0	17.0	
50パーセンタイル値	20.0	20.0	20.0	19.0	19.0	20.0	
75パーセンタイル値	23.0	22.0	22.0	21.0	22.0	22.0	
女子 標本数	1943	2005	1949	1964	1968	1695	11524
平均值	19.6	18.9	19.1	18.5	18.4	18.8	
標準偏差	3.6	3.6	3.7	3.5	3.5	3.6	
25パーセンタイル値	17.0	16.0	17.0	16.0	16.0	16.0	
50パーセンタイル値	20.0	19.0	19.0	18.0	18.0	19.0	
75パーセンタイル値	22.0	21.0	21.0	21.0	20.0	21.0	

表5 セルフエスティーム「家族」

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男子 標本数	2034	2030	2008	1734	1594	1458	10858
平均值	23.0	22.3	21.6	21.7	21.8	21.8	
標準偏差	4.0	4.0	4.1	3.9	3.9	4.0	
25パーセンタイル値	20.0	20.0	19.0	19.0	19.0	19.0	
50パーセンタイル値	23.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	
75パーセンタイル値	26.0	25.0	25.0	24.0	25.0	25.0	
女子 標本数	1948	2010	1962	1974	1968	1701	11563
平均值	22.7	21.9	21.8	21.7	21.8	22.2	
標準偏差	4.3	4.4	4.4	4.2	4.1	4.1	
25パーセンタイル値	20.0	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0	
50パーセンタイル値	23.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	
75パーセンタイル値	26.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	

表6 セルフエスティーム「身体」

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男子 標本数	2014	2020	2010	1739	1594	1451	10828
平均值	19.1	18.9	18.6	18.1	18.1	18.3	
標準偏差	3.3	3.2	3.3	3.2	3.4	3.4	
25パーセンタイル値	17.0	17.0	16.0	16.0	16.0	16.0	
50パーセンタイル値	19.0	19.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
75パーセンタイル値	21.0	21.0	21.0	20.0	20.0	20.0	
女子 標本数	1937	2015	1933	1967	1972	1700	11524
平均值	17.5	16.6	16.5	16.1	16.2	16.6	
標準偏差	3.7	3.4	3.4	3.2	3.3	3.3	
25パーセンタイル値	15.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	
50パーセンタイル値	17.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	
75パーセンタイル値	20.0	19.0	19.0	18.0	18.0	19.0	

表7 生涯喫煙経験

	中1		中2		中3		高1		高2		高3		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男子														
吸ったことがない	1938	94.4	1872	90.3	1763	86.6	1518	86.7	1347	83.9	1243	84.7	9681	88.1
吸ったことがある	115	5.6	201	9.7	273	13.4	233	13.3	258	16.1	224	15.3	1304	11.9
合計	2053	100.0	2073	100.0	2036	100.0	1751	100.0	1605	100.0	1467	100.0	10985	100.0
女子														
吸ったことがない	1889	95.8	1928	93.9	1822	92.2	1841	92.5	1810	90.9	1517	88.4	10807	92.4
吸ったことがある	82	4.2	126	6.1	155	7.8	150	7.5	182	9.1	199	11.6	894	7.6
合計	1971	100.0	2054	100.0	1977	100.0	1991	100.0	1992	100.0	1716	100.0	11701	100.0

表8 月喫煙行動

	中1		中2		中3		高1		高2		高3		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男子														
吸っていない	2018	98.8	2015	97.6	1964	96.8	1699	97.4	1546	96.4	1400	95.6	10642	97.2
1本吸った	11	0.5	14	0.7	14	0.7	14	0.8	14	0.9	10	0.7	77	0.7
2～19本吸った	11	0.5	20	1.0	26	1.3	15	0.9	16	1.0	14	1.0	102	0.9
20本以上吸った	3	0.1	15	0.7	25	1.2	17	1.0	27	1.7	41	2.8	128	1.2
合計	2043	100.0	2064	100.0	2029	100.0	1745	100.0	1603	100.0	1465	100.0	10949	100.0
女子														
吸っていない	1960	99.4	2027	98.9	1942	98.3	1960	98.6	1958	98.5	1676	97.7	11523	98.6
1本吸った	5	0.3	10	0.5	4	0.2	10	0.5	11	0.6	7	0.4	47	0.4
2～19本吸った	5	0.3	10	0.5	21	1.1	9	0.5	4	0.2	18	1.1	67	0.6
20本以上吸った	2	0.1	3	0.1	8	0.4	8	0.4	15	0.8	14	0.8	50	0.4
合計	1972	100.0	2050	100.0	1975	100.0	1987	100.0	1988	100.0	1715	100.0	11687	100.0

表9 生涯飲酒経験

	中1		中2		中3		高1		高2		高3		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男子														
飲んだことがない	1262	61.6	1163	56.2	1117	54.9	825	47.1	670	41.7	609	41.6	5646	51.4
飲んだことがある	786	38.4	906	43.8	918	45.1	927	52.9	936	58.3	856	58.4	5329	48.6
合計	2048	100.0	2069	100.0	2035	100.0	1752	100.0	1606	100.0	1465	100.0	10975	100.0
女子														
飲んだことがない	1286	65.2	1225	59.7	1082	54.7	923	46.4	831	41.9	631	36.9	5978	51.2
飲んだことがある	685	34.8	827	40.3	895	45.3	1068	53.6	1154	58.1	1080	63.1	5709	48.8
合計	1971	100.0	2052	100.0	1977	100.0	1991	100.0	1985	100.0	1711	100.0	11687	100.0

表10 月飲酒行動

	中1		中2		中3		高1		高2		高3		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男子														
飲んでいない	1915	93.2	1877	90.7	1837	90.2	1531	87.4	1338	83.5	1211	82.6	9709	88.4
1回飲んだ	79	3.8	105	5.1	110	5.4	111	6.3	114	7.1	106	7.2	625	5.7
2回以上飲んだ	60	2.9	88	4.3	89	4.4	110	6.3	151	9.4	149	10.2	647	5.9
合計	2054	100.0	2070	100.0	2036	100.0	1752	100.0	1603	100.0	1466	100.0	10981	100.0
女子														
飲んでいない	1863	94.4	1890	92.2	1779	89.9	1748	87.8	1641	82.7	1403	81.9	10324	88.3
1回飲んだ	81	4.1	106	5.2	123	6.2	128	6.4	201	10.1	167	9.7	806	6.9
2回以上飲んだ	30	1.5	53	2.6	77	3.9	114	5.7	143	7.2	144	8.4	561	4.8
合計	1974	100.0	2049	100.0	1979	100.0	1990	100.0	1985	100.0	1714	100.0	11691	100.0

表11 ダイエット行動

	中1		中2		中3		高1		高2		高3		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男子														
指導を受けて実行した	12	0.6	18	0.9	17	0.8	14	0.8	15	0.9	20	1.4	96	0.9
やせたいと思って実行した	248	12.1	204	9.9	307	15.1	255	14.6	249	15.5	340	23.2	1603	14.6
したいと思ったが、 まだ実行していない	237	11.5	238	11.5	246	12.1	192	11.0	207	12.9	188	12.8	1308	11.9
思ったことはない	1558	75.8	1606	77.7	1459	71.9	1287	73.6	1132	70.6	919	62.6	7961	72.6
合計	2055	100.0	2066	100.0	2029	100.0	1748	100.0	1603	100.0	1467	100.0	10968	100.0
女子														
指導を受けて実行した	6	0.3	7	0.3	10	0.5	7	0.4	14	0.7	10	0.6	54	0.5
やせたいと思って実行した	502	25.5	728	35.6	907	45.9	1046	52.5	1149	57.8	1080	63.0	5412	46.3
したいと思ったが、 まだ実行していない	766	38.9	818	40.0	720	36.4	701	35.2	615	30.9	455	26.5	4075	34.9
思ったことはない	695	35.3	494	24.1	339	17.2	238	11.9	211	10.6	169	9.9	2146	18.4
合計	1969	100.0	2047	100.0	1976	100.0	1992	100.0	1989	100.0	1714	100.0	11687	100.0

表12 平日のビデオやDVDの視聴時間

	中1		中2		中3		高1		高2		高3		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男子														
ほとんど見ない	854	41.8	805	39.0	835	41.1	885	50.6	816	50.9	786	53.6	4981	45.5
1時間未満	395	19.3	374	18.1	395	19.5	382	21.8	326	20.3	285	19.4	2157	19.7
1～2時間未満	389	19.0	440	21.3	411	20.2	271	15.5	272	17.0	224	15.3	2007	18.3
2～3時間未満	202	9.9	187	9.1	190	9.4	106	6.1	93	5.8	100	6.8	878	8.0
3～4時間未満	110	5.4	141	6.8	83	4.1	62	3.5	44	2.7	30	2.0	470	4.3
4時間以上	92	4.5	118	5.7	116	5.7	44	2.5	53	3.3	41	2.8	464	4.2
合計	2042	100.0	2065	100.0	2030	100.0	1750	100.0	1604	100.0	1466	100.0	10957	100.0
女子														
ほとんど見ない	819	41.8	890	43.5	912	46.2	1018	51.2	1094	55.3	897	52.4	5630	48.3
1時間未満	318	16.2	325	15.9	322	16.3	313	15.8	294	14.9	280	16.3	1852	15.9
1～2時間未満	384	19.6	398	19.4	381	19.3	363	18.3	356	18.0	290	16.9	2172	18.6
2～3時間未満	205	10.5	211	10.3	178	9.0	159	8.0	132	6.7	137	8.0	1022	8.8
3～4時間未満	128	6.5	103	5.0	98	5.0	70	3.5	58	2.9	69	4.0	526	4.5
4時間以上	104	5.3	120	5.9	85	4.3	64	3.2	45	2.3	40	2.3	458	3.9
合計	1958	100.0	2047	100.0	1976	100.0	1987	100.0	1979	100.0	1713	100.0	11660	100.0

表13 平日のテレビの視聴時間

	中1		中2		中3		高1		高2		高3		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男子														
ほとんど見ない	86	4.2	85	4.1	117	5.8	194	11.1	191	11.9	203	13.8	876	8.0
1時間未満	232	11.3	230	11.1	287	14.1	339	19.3	340	21.2	306	20.8	1734	15.8
1～2時間未満	564	27.5	488	23.6	607	29.9	550	31.4	523	32.6	455	31.0	3187	29.0
2～3時間未満	449	21.9	505	24.4	474	23.3	327	18.7	296	18.4	249	17.0	2300	21.0
3～4時間未満	390	19.0	397	19.2	267	13.2	222	12.7	142	8.8	147	10.0	1565	14.3
4時間以上	329	16.0	362	17.5	278	13.7	121	6.9	114	7.1	108	7.4	1312	12.0
合計	2050	100.0	2067	100.0	2030	100.0	1753	100.0	1606	100.0	1468	100.0	10974	100.0
女子														
ほとんど見ない	90	4.6	88	4.3	115	5.8	164	8.2	168	8.5	142	8.3	767	6.6
1時間未満	190	9.7	179	8.7	251	12.7	305	15.3	312	15.7	272	15.9	1509	12.9
1～2時間未満	443	22.5	468	22.8	540	27.3	614	30.9	601	30.3	499	29.1	3165	27.1
2～3時間未満	438	22.3	508	24.7	473	23.9	424	21.3	405	20.4	374	21.8	2622	22.4
3～4時間未満	404	20.5	422	20.5	338	17.1	280	14.1	292	14.7	242	14.1	1978	16.9
4時間以上	402	20.4	390	19.0	262	13.2	201	10.1	207	10.4	185	10.8	1647	14.1
合計	1967	100.0	2055	100.0	1979	100.0	1988	100.0	1985	100.0	1714	100.0	11688	100.0

表14 1ヶ月あたりに読むマンガの冊数

	中1		中2		中3		高1		高2		高3		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男子														
ほとんど読まない	535	26.1	511	24.7	547	26.9	422	24.1	431	26.8	458	31.2	2904	26.5
1～2冊	442	21.6	450	21.7	469	23.1	405	23.1	374	23.3	344	23.5	2484	22.6
3～5冊	399	19.5	422	20.4	402	19.8	386	22.0	336	20.9	290	19.8	2235	20.4
6冊以上	674	32.9	687	33.2	612	30.1	541	30.8	467	29.0	374	25.5	3355	30.6
合計	2050	100.0	2070	100.0	2030	100.0	1754	100.0	1608	100.0	1466	100.0	10978	100.0
女子														
ほとんど読まない	624	31.7	662	32.2	733	37.1	829	41.7	884	44.5	840	49.0	4572	39.1
1～2冊	457	23.2	510	24.8	521	26.4	483	24.3	513	25.8	383	22.3	2867	24.5
3～5冊	385	19.6	394	19.2	351	17.8	320	16.1	305	15.3	237	13.8	1992	17.0
6冊以上	503	25.5	491	23.9	372	18.8	357	17.9	286	14.4	256	14.9	2265	19.4
合計	1969	100.0	2057	100.0	1977	100.0	1989	100.0	1988	100.0	1716	100.0	11696	100.0

表15 1ヶ月あたりに読む雑誌の冊数

	中1		中2		中3		高1		高2		高3		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男子														
ほとんど読まない	1360	66.4	1280	61.9	1174	57.8	923	52.8	792	49.3	735	50.0	6264	57.1
1～2冊	469	22.9	524	25.3	589	29.0	592	33.9	587	36.5	499	34.0	3260	29.7
3～5冊	117	5.7	146	7.1	150	7.4	141	8.1	151	9.4	152	10.3	857	7.8
6冊以上	102	5.0	119	5.8	117	5.8	92	5.3	77	4.8	83	5.7	590	5.4
合計	2048	100.0	2069	100.0	2030	100.0	1748	100.0	1607	100.0	1469	100.0	10971	100.0
女子														
ほとんど読まない	818	41.6	791	38.5	763	38.6	726	36.5	781	39.2	686	40.0	4565	39.0
1～2冊	827	42.0	959	46.7	975	49.3	1050	52.8	1032	51.9	883	51.5	5726	49.0
3～5冊	216	11.0	221	10.8	173	8.7	156	7.8	149	7.5	115	6.7	1030	8.8
6冊以上	107	5.4	83	4.0	68	3.4	57	2.9	28	1.4	31	1.8	374	3.2
合計	1968	100.0	2054	100.0	1979	100.0	1989	100.0	1990	100.0	1715	100.0	11695	100.0

表16 体型・スタイルに関する友人との会話

		中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男子	標本数	2041	2054	2022	1747	1598	1465	10927
	平均値	7.3	7.9	8.7	9.7	10.0	10.3	
	標準偏差	3.0	3.3	3.8	4.0	4.0	4.2	
	25パーセンタイル値	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	
	50パーセンタイル値	6.0	7.0	8.0	10.0	10.0	10.0	
	75パーセンタイル値	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	13.0	
女子	標本数	1961	2045	1970	1984	1985	1709	11654
	平均値	10.6	11.5	12.1	13.1	13.6	13.7	
	標準偏差	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	
	25パーセンタイル値	7.0	9.0	9.0	10.0	11.0	11.0	
	50パーセンタイル値	10.0	11.0	12.0	13.0	13.0	14.0	
	75パーセンタイル値	13.0	14.0	15.0	16.0	16.0	16.0	

表 17 メディア情報の影響（プレッシャー）

	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
男子 標本数	2039	2055	2021	1744	1601	1463	10923
平均值	4.3	4.1	4.4	4.2	4.4	4.6	
標準偏差	2.6	2.5	2.7	2.6	2.7	2.8	
25 パーセンタイル値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
50 パーセンタイル値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
75 パーセンタイル値	4.0	3.0	4.0	4.0	5.0	5.0	
女子 標本数	1968	2047	1974	1986	1982	1713	11670
平均值	6.9	7.8	8.4	9.0	9.1	9.2	
標準偏差	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	
25 パーセンタイル値	3.0	3.0	3.0	5.0	5.0	5.0	
50 パーセンタイル値	6.0	8.0	9.0	9.0	9.0	10.0	
75 パーセンタイル値	10.0	12.0	12.0	12.0	12.0	13.0	

表 18 メディア情報の影響（情報の重要性）

	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
男子 標本数	2034	2044	2021	1742	1598	1463	10902
平均值	7.1	7.5	8.2	8.8	8.8	8.7	
標準偏差	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	
25 パーセンタイル値	3.0	3.0	4.0	6.0	6.0	5.0	
50 パーセンタイル値	7.0	7.0	9.0	9.0	9.0	9.0	
75 パーセンタイル値	10.0	11.0	11.0	12.0	12.0	12.0	
女子 標本数	1963	2047	1973	1985	1982	1709	11659
平均值	10.4	10.8	11.0	11.2	11.2	11.1	
標準偏差	3.7	3.4	3.2	3.1	3.1	3.0	
25 パーセンタイル値	8.0	9.0	9.0	9.0	9.8	10.0	
50 パーセンタイル値	11.0	11.0	12.0	12.0	12.0	12.0	
75 パーセンタイル値	13.0	14.0	13.0	14.0	14.0	13.0	

表 19 メディア情報の影響（内面化一般）

	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
男子 標本数	2040	2057	2022	1748	1605	1462	10934
平均值	5.9	6.4	7.1	7.6	8.0	7.9	
標準偏差	3.5	3.7	4.0	4.0	4.1	4.0	
25 パーセンタイル値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
50 パーセンタイル値	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	8.0	
75 パーセンタイル値	9.0	9.0	10.0	11.0	11.0	11.0	
女子 標本数	1964	2049	1972	1986	1986	1710	11667
平均值	9.7	10.5	11.0	11.4	11.5	11.3	
標準偏差	3.8	3.6	3.6	3.4	3.4	3.6	
25 パーセンタイル値	7.0	8.5	9.0	9.0	9.0	9.0	
50 パーセンタイル値	10.0	11.0	12.0	12.0	12.0	12.0	
75 パーセンタイル値	13.0	13.0	14.0	15.0	15.0	15.0	

表 20 メディア情報の影響（内面化スポーツ）

	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
男子 標本数	2039	2051	2014	1743	1596	1464	10907
平均值	7.8	8.0	8.3	9.2	9.1	8.8	
標準偏差	3.5	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	
25 パーセンタイル値	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	
50 パーセンタイル値	8.0	8.0	8.0	9.0	9.0	9.0	
75 パーセンタイル値	11.0	11.0	11.0	12.0	12.0	12.0	
女子 標本数	1960	2046	1968	1984	1986	1710	11654
平均值	5.9	6.2	6.3	6.6	6.7	6.1	
標準偏差	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.1	
25 パーセンタイル値	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	3.0	
50 パーセンタイル値	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	
75 パーセンタイル値	8.0	8.0	9.0	9.0	9.0	8.0	

表 21 身体不満足

	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
男子 標本数	1979	1974	1958	1718	1574	1442	10645
平均値	15.6	15.9	16.2	16.4	16.1	16.1	
標準偏差	7.0	6.7	6.8	6.3	6.7	6.9	
25 パーセンタイル値	10.0	12.0	12.0	13.0	12.0	12.0	
50 パーセンタイル値	17.0	17.0	18.0	18.0	17.0	18.0	
75 パーセンタイル値	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	
女子 標本数	1898	1975	1927	1959	1971	1694	11424
平均値	17.8	19.3	20.2	20.8	20.8	20.9	
標準偏差	6.2	5.5	5.2	4.6	4.7	4.7	
25 パーセンタイル値	15.0	17.0	18.0	19.0	19.0	19.0	
50 パーセンタイル値	19.0	20.0	21.0	22.0	22.0	22.0	
75 パーセンタイル値	23.0	24.0	24.0	25.0	25.0	25.0	

青少年の生きる力と健康行動調査

中・高校生用

お願い

この調査は、あなたが自分自身について考えていることや、あなたの行動について知ることを目的として行うもので、テストではありません。

あなたが答えた内容が、ほかの人に知られないように注意しますので、ありのままを答えてください。特に次のことに気をつけて、答えてください。

1. まわりの人と相談しないで、自分で考えたとおりに答えてください。また、質問文を声に出して読み上げははいけません。
2. どうしても答えたくない質問には答えなくてもかまいませんが、できるだけすべての質問に正直に答えてください。
3. この調査票には、あなたの名前は書かないでください。
4. 各ページにある□には、何も書きこまないでください。
5. 全部書き終わったら、静かに待っていてください。

1 □ □ □ □ □ □

1. あなたの^{がっこう}学校の^{しよざいち}所在地、^{がっこうめい}学校名、^{がくねん}学年、^{くみ}組^かを書いてください。

() ^と都・^{どう}道・^ふ府・^{けん}県 () ^し市・^く区・^{ぐん}郡

7 9

() ^{がっこう}学校 () ^{ねん}年 () ^{くみ}組

10 11 14 15

2. 今日^{きよう}の日^ひづけ^かを書いてください。

20 () ^{ねん}年 () ^{がつ}月 () ^{にち}日

18 20 22

3. あなたは、^{なんさい}何歳^{さい}ですか。…… () 歳

25

4. あなたは^{おとこ}男^{おんな}ですか、女^{すうじ}ですか。数字^{すうじ}に○をつけてください。

1. ^{おとこ}男 2. ^{おんな}女

27

5. あなたの^{しんちようたいじゆう}身長^かと^{しやうすう}体重^{ししやごにゆう}を書いてください。(※^{せいすう}小数^かは四捨五入し、整数^かで書いてください)

() cm

29

() kg

32

6. 次の^{つぎ}それぞれの^{しつもん}質問^{きも}について、あなたの^{いちばん}気持ち^あに一番^あ合うものを、それぞれ1から3の中から1つだけ選んで、数字^{すうじ}に○をつけてください。

1) ^{わたし}私は、ほとんどの^{てん}点^{じぶん}で自分^{まんぞく}に満足^{まんぞく}しています。

1. よく^{おも}そう思う 2. ^{おも}ときにはそう思う 3. ^{おも}ほとんどそうは思^{おも}わない

36

2) 私は、自分がまったくだめだと思えます。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

37

3) 私は、自分にはいくつかよいところがあると思えます。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

38

4) 私は、ふつうの人がやれるくらいには、いろいろなことができると思えます。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

39

5) 私には、あまり得意に思えることはありません。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

40

6) 私は、自分が役に立たない人間だと思えることがあります。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

41

7) 私は、自分が少なくともほかの人と同じくらいは、価値のある人間だと思えます。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

42

8) 私は、もう少し自分をほこりにできたらいいなと思えます。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

43

9) 私は、自分はよく失敗する人間だと思えます。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

44

10) 私は、自分のよいところに目を向けるようにしています。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

45

7. 次のそれぞれの質問について、あなたの気持ちに一番合うものを、それぞれ1から3の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1) 私は、とても不器用です。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

47

2) 私は、家族の中の大切なひとりです。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

48

3) 私は、自分の顔や姿が好きです。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

49

4) 私は、家族といっしょにいるとき、とても楽しいです。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

50

5) 私は、ほかの友だちと同じくらいの身長だっただらと思います。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

51

6) 私は、家にいたくないと思うことがあります。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

52

7) 私の顔はかわいい（かっこいい）です。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

53

8) 私のことで、親が悲しんでいるときがあります。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

54

9) 私は、今より太りたい（あるいはやせたい）です。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

55

10) 私は、よい娘（または息子）です。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

56

11) 私の笑顔はすてきです。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

57

12) 私は、親が私のことをほこりにするような、よい点をもっています。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

58

13) 私は、自分の顔や姿がいやです。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

59

14) 私の家族は、とてもすばらしい家族です。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

60

15) 私は、自分の好きなスポーツやゲームは、じょうずです。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

61

16) 私の家族は、私に対してとてもがっかりしています。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

62

17) 私は、もっと、ほかの子のようにかっこよくなりたいです。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

63

18) 私が今の自分とはもっとちがっていたら、私の親は幸せだろうと思います。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

64

19) 私は、よい体つきをしています。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

65

20) 私は、家族といっしょのときに自分がとる行動が好きではありません。

1. よくそう思う 2. ときにはそう思う 3. ほとんどそうは思わない

66

1

8. あなたは、^{いま}今までに、^{さけ}酒や^のビールを飲んだことがありますか。1つだけ^{えら}選んで、^{すうじ}数字に○をつけてください。

1. ^の飲んだことがない 2. ^の飲んだことがある

7

9. あなたは、^{げつかん}この1ヶ月間に^{さけ}酒や^のビールを飲みましたか。1つだけ^{えら}選んで、^{すうじ}数字に○をつけてください。

1. ^の飲んでいない 2. ^{かいの}1回飲んだ 3. ^{かいいじょうの}2回以上飲んだ

8

10. あなたは、^{いま}今までに、^{ひとくち}タバコを^す一口でも吸ったことがありますか。1つだけ^{えら}選んで、^{すうじ}数字に○をつけてください。

1. ^す吸ったことがない 2. ^す吸ったことがある

9

11. あなたは、^{げつかん}この1ヶ月間に^すタバコを吸いましたか。1つだけ^{えら}選んで、^{すうじ}数字に○をつけてください。

1. ^す吸っていない 2. ^{ほんす}1本吸った 3. ^{ほんす}2～19本吸った 4. ^{ほんいじょうす}20本以上吸った

10

12. あなたは、^{いま}今までに^{おも}やせたいと思っ^{たいじゅう}て^へ体重を^{どりよく}減らす努力（ダイエット）をしたことがありますか。1つだけ^{えら}選んで、^{すうじ}数字に○をつけてください。

1. ^{ふと}太りすぎと^{いし}医師や^{せんせい}先生に^い言われ、^{しどう}指導を^う受けて^{じっこう}実行した
2. ^{おも}やせたいと思っ^{じっこう}て実行した
3. ^{おも}したいと思っ^{じっこう}たが、まだ実行していない
4. ^{おも}思ったことはない

11

13. 次のそれぞれの質問について、あなたがとるふだんの行動として、最もあてはまるものを1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1) あなたは、平日、1日に何時間くらいビデオやDVDをみますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. ほとんど見ない | 2. 1時間未満 | 3. 1～2時間未満 |
| 4. 2～3時間未満 | 5. 3～4時間未満 | 6. 4時間以上 |

12

2) あなたは、平日、1日に何時間くらいテレビをみますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. ほとんど見ない | 2. 1時間未満 | 3. 1～2時間未満 |
| 4. 2～3時間未満 | 5. 3～4時間未満 | 6. 4時間以上 |

13

3) あなたは、1ヶ月に、マンガ(マンガ本やマンガ雑誌)を何冊くらい読みますか。

- | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| 1. ほとんど読まない | 2. 1～2冊 | 3. 3～5冊 | 4. 6冊以上 |
|-------------|---------|---------|---------|

14

4) あなたは、1ヶ月に、雑誌(マンガ雑誌は含みません)を何冊くらい読みますか。

- | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| 1. ほとんど読まない | 2. 1～2冊 | 3. 3～5冊 | 4. 6冊以上 |
|-------------|---------|---------|---------|

15

14. 次のそれぞれの質問について、あなたの気持ちに一番合うものを、それぞれ1から5の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1) テレビや雑誌を見ていると、体重を減らさなければいけないというプレッシャーを感じる。

- | | | |
|-----------------|--------------------|--------------|
| 1. そうは思わない | 2. どちらかと言えばそうは思わない | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかと言えばそう思う | 5. そう思う | |

17

2) テレビのコマーシャルは、流行のファッションや“魅力(かっこよさ、かわいさ)”に関する重要な情報源である。

- | | | |
|-----------------|--------------------|--------------|
| 1. そうは思わない | 2. どちらかと言えばそうは思わない | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかと言えばそう思う | 5. そう思う | |

18

3) 雑誌に出ているモデルのような体型・スタイルになりたい。

1. そうは思わない 2. どちらかと言えばそうは思わない 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思う 5. そう思う

19

4) テレビや雑誌を見ていると、やせなければいけないというプレッシャーを感じる。

1. そうは思わない 2. どちらかと言えばそうは思わない 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思う 5. そう思う

20

5) 映画に出ているヒロインやヒーローのような体型・スタイルになりたい。

1. そうは思わない 2. どちらかと言えばそうは思わない 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思う 5. そう思う

21

6) 歌のプロモーションビデオ(PV)に出ているモデルのような容姿(見た目)になりたい。

1. そうは思わない 2. どちらかと言えばそうは思わない 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思う 5. そう思う

22

7) テレビや雑誌を見ていると、ダイエットしなければいけないというプレッシャーを感じる。

1. そうは思わない 2. どちらかと言えばそうは思わない 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思う 5. そう思う

23

8) 雑誌に出ている写真は、流行のファッションや“魅力(かっこよさ、かわいさ)”に関する重要な情報源である。

1. そうは思わない 2. どちらかと言えばそうは思わない 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思う 5. そう思う

24

9) スポーツ選手のような筋肉質で引き締まった体型・スタイルになりたい。

1. そうは思わない 2. どちらかと言えばそうは思わない 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思う 5. そう思う

25

10) 自分の体型・スタイルを、スポーツ選手の体型・スタイルと比べる。

1. そうは思わない 2. どちらかと言えばそうは思わない 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思う 5. そう思う

26

11) 有名人は、流行のファッションや“魅力（かっこよさ、かわいさ）”に関する重要な情報源である。

1. そうは思わない 2. どちらかと言えばそうは思わない 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思う 5. そう思う

27

12) スポーツ選手のような体型・スタイルになろうとしている。

1. そうは思わない 2. どちらかと言えばそうは思わない 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思う 5. そう思う

28

15. 次のそれぞれの質問について、あなたの気持ちに一番合うものを、それぞれ1から5の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1) 友だちとの会話で、着る服によって体型・スタイルがどう見えるかということが、話題になります。

1. まったくない 2. あまりない 3. たまにある 4. よくある 5. いつもある

30

2) どんな体型・スタイルになりたいか、友だちと話をします。

1. まったくない 2. あまりない 3. たまにある 4. よくある 5. いつもある

31

3) 自分を魅力的に見せることがどれだけ重要か、友だちと話をします。

1. まったくない 2. あまりない 3. たまにある 4. よくある 5. いつもある

32

4) スタイルや体格について、友だちと話をします。

1. まったくない 2. あまりない 3. たまにある 4. よくある 5. いつもある

33

5) 自分をかっこよく見せるために何が出来るか、友だちと話をします。

1. まったくない 2. あまりない 3. たまにある 4. よくある 5. いつもある

34

16. 次の質問について、あなたがそれぞれのことをどのくらいいつも思っているかを考えて、自分に最もあてはまるものを1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1) 自分のお腹はちょうどよい大きさだと思う。

1. いつもそう思う 2. 大体いつもそう思う 3. そう思うことが多い
4. ときどきそう思う 5. めったにそうは思わない 6. 全然そうは思わない

36

2) 自分の体型・スタイルに満足している。

1. いつもそう思う 2. 大体いつもそう思う 3. そう思うことが多い
4. ときどきそう思う 5. めったにそうは思わない 6. 全然そうは思わない

37

3) 自分のお尻の格好を気に入っている。

1. いつもそう思う 2. 大体いつもそう思う 3. そう思うことが多い
4. ときどきそう思う 5. めったにそうは思わない 6. 全然そうは思わない

38

4) 自分の太ももはちょうどよい太さだと思う。

1. いつもそう思う 2. 大体いつもそう思う 3. そう思うことが多い
4. ときどきそう思う 5. めったにそうは思わない 6. 全然そうは思わない

39

5) 自分の腰はちょうどよい太さだと思う。

1. いつもそう思う 2. 大体いつもそう思う 3. そう思うことが多い
4. ときどきそう思う 5. めったにそうは思わない 6. 全然そうは思わない

40

質問はこれで終わりです。ありがとうございました。
指示があるまで静かに待っていてください。

青少年の生きる力と健康行動調査の実施手引

調査を実施される先生は、調査前に必ずお読みください。

この冊子は、青少年の生きる力と健康行動調査の実施手順を説明したものです。調査方法が実施者によって異なると調査結果に影響するおそれがありますので、必ずこの冊子通りに調査を進めてください。調査結果は今後の健康教育の基礎資料として役立たせる予定ですので、よろしくご協力の程お願いいたします。

なお、貴校の承諾なく、学校名を公表することは絶対にいたしません。

調査実施機関：(財) 日本学校保健会

「メディアリテラシーと子どもの健康調査委員会」委員長 川畑徹朗

【調査実施前の注意事項】

- 1) この調査は、原則としてクラス担任の先生がクラスごとに各教室で行ってください。
- 2) 生徒に説明する内容は、この冊子の次ページより枠で示してあります。必ず、この通りに読み上げて、それ以外の説明は行わないでください。
- 3) 生徒が調査票に記入している間、先生は席を回ったり、記入内容をのぞきこんだり、生徒に声をかけたりしないでください。ただし、生徒が私語をしたり、席から離れたりした場合は注意を行ってください。
- 4) 生徒が記入に要する時間は30分程度ですが、全員が記入を済ませ、回収用封筒に調査票を入れたことを確認した上で、回収を行ってください。

【調査に使用する物の確認】

* 調査を行う前に、この調査実施手引以外に、以下の物が調査袋に入っているかを確認してください。

◇ 調査票・・・(在籍者数+予備3部)

◇ 調査票回収用封筒・・・(在籍者数+予備3部)

- * この冊子も調査に必要ですので、教室に忘れずに持って入ってください。
- * 先生も筆記用具を用意してください。
- * 確認が済みましたら、調査袋と筆記用具を持って教室に入り、以下の手順で調査を行ってください。

【調査実施手順】

1. 記入前の手続きと説明内容

- * 教室に入り、生徒を着席させてください。回答の秘密の保持のために、互いの机を少し離すように指示してください。静かにさせた上で、この冊子に示した手順に従って、**枠内の言葉をゆっくり読み上げて**ください。
- * まず調査票を生徒に見せながら、以下の説明を行ってください。ただし、調査票の中は開かないでください。

これから行う調査は、みなさんが自分自身についてどう考えているか、どんな行動をとっているかなどを尋ねるものです。

この調査はテストではありません。調査票には名前を書く必要はありませんし、書き終わったら、封筒に入れて封をしますので、それぞれの調査票は、誰が書いたかわからないようになっています。また、先生たちは中を見ることは決してありませんから、正直に答えてください。

机の上には筆記用具だけを置いて、ほかの物はしまってください。

- * 筆記用具のみを残して机を整理したことを確認してください。

これから調査票を配りますが、先生がいいというまで調査票をめくったり、書き始めたりしないでください。

- * 調査票を配付し、以下の説明をしてください。なお、回収用封筒は後で配付してください。

では、これから調査票に記入してもらいますが、書き始める前に注意することがあります。調査票表紙の四角内の説明文を見てください。

1. まわりの人と相談しないで、自分で考えたとおりに答えてください。また、質問文を声に出して読み上げてはいけません。
2. どうしても答えたくない質問には答えなくてもかまいませんが、できるだけすべての質問に正直に答えてください。
3. この調査票には、あなたの名前は書かないでください。
4. 各ページにある四角のマスには何も書き込まないでください。
5. 全部書き終わったら、静かに待っていてください。

もし、回答の仕方などについて質問がある人は静かに手を挙げてください。最後のページの質問まで回答し終わったら、静かに待っていてください。では、ページを開いて始めてください。

2. 記入中の手続きと注意

- 1) 先生は、生徒の記入中に、調査袋の表紙に必要事項を記入してください。
- 2) 最初の注意事項に書きましたように、生徒が調査票に記入している間、席を回ったり、記入内容をのぞき込んだり、声をかけたりしないでください。
- 3) 調査実施中に生徒から質問がありましたら、質問内容とそれに対する先生の回答をこの調査実施手引の最終ページにご記入ください。
- 4) 調査実施手引は、他の封筒などとともに調査袋に入れてご返却ください。

3. 記入後の説明

- * 全員が記入を済ませたのを確認し、調査票回収用封筒を配付してください。封の仕方について、実際に予備の調査票と封筒を手にしながらかのように説明してください。

これから封筒の封の仕方を説明します。調査票を封筒の中に入れてください。次に、封筒についている紙をはがして封をしてください。

- * 全員が封をできたことを確認してください。もし、調査票を入れずに封をするなど失敗した生徒がいましたら、予備の封筒を渡してください。

封筒には何も書かないでください。では封筒を集めますので、前にまわしてください。順番は上に重ねても下に重ねてもかまいません。

- * 先生のもとへ封筒が集まりましたら、そのまますぐに調査袋の中に入れ、封をしてください。なお、余った未記入の調査票と封筒も、調査袋に入れてご返却ください。

これで調査は終わりです。

- * 調査袋は、調査責任者の先生にご返却ください。

調査内容に対する生徒の質問と先生の回答内容

() 都・道・府・県 () 市・区・郡
() 学校 () 年 () 組

1. 質問：

回答：

2. 質問：

回答：

3. 質問：

回答：

4. 質問：

回答：

5. 質問：

回答：

6. 質問：

回答：

7. 質問：

回答：

メディアリテラシーと子どもの健康調査委員会（五十音順）

（平成 22 年度～平成 24 年度）

◎印 委員長

池 田 真理子	広島県福山市立野々浜小学校校長
岩 澤 奈々子	埼玉県川口市立榛松中学校養護教諭
◎川 畑 徹 朗	神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授
鬼 頭 英 明	兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授
島 井 哲 志	日本赤十字豊田看護大学教授
千須和 直 美	大阪市立大学大学院生活科学研究科特任助教
辻 本 悟 史	神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授
西 岡 伸 紀	兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授
吉 田 聡	滋賀県大津市立膳所小学校教頭

なお、本書の作成に当たり、北垣 邦彦文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課健康
教育調査官のほか下記の方々から多大のご援助とご指導をいただきました。

岩 崎 信 子	文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課健康教育調査官
知 念 希 和	文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課学校保健対策専門官
森 良 一	文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課教科調査官

平成 24 年度メディアリテラシーと子どもの健康調査委員会報告書

平成 25 年 2 月 15 日発行

発行者

公益財団法人 日本学校保健会

〒 105-0001 東京都港区虎ノ門 2-3-17

虎ノ門 2 丁目タワー 6 階

TEL 03 (3501) 2000

FAX 03 (3592) 3898

印刷・製本

三永印刷株式会社

本書の無断複写・複製・転載・デジタルデータ化を禁じます。

